令和7年度 学修行動等に関する調査結果のまとめ

R8.2.27　IR センター

本学における教育の質保証に向け、学生の学修成果や学修行動等を把握し、教育改善の資料としても活用する目的で継続的に実施している標記調査について、令和 7(2025)年度の結果を以下のとおり報告します。

1. 実施方法及び調査内容等

『令和7年度 学修行動等に関する調査実施要項』のとおり。

(1)実施方法 ① 対象:全学科、全学年
② 日時:令和7年10～11月(各学科で実施。原則、短期大学基準協会「短期大学生調査2025」と同時期)
③ 手続き:各学科クラスアワー等の時間を活用し、アンケート調査(Web 入力)として実施
(2)調査内容 ① 学修態度:授業及び授業外での学修への取組態度
② 教養教育及びキャリア教育の学修成果:到達指標に対する到達度の自己評価
③ 専門教育の学修成果:到達指標に対する到達度の自己評価
④ カリキュラム等に対する要望:開設希望の教科など(自由記述)

2. 回答した学生数と回答率

「表1 令和7年度 学修行動等調査回答学生数」(1頁)のとおり。

表1 令和7年度 学修行動等調査回答学生数　(R7.12.10現在)

調査回答学生数 [回答者:人(在籍者:人)回答率:%]	1年	2年	3年	計
幼 児 教 育	41(42) 98%	33(35) 94%	37(38) 97%	**111(115) 97%**
デザイン美術	37(52) 71%	41(45) 91%	–	**78(97) 80%**
音 楽 総 合	31(31) 100%	42(45) 93%	–	**73(76) 96%**
歯 科 衛 生	51(52) 98%	24(24) 100%	42(42) 100%	**117(118) 99%**
計	**160 (177) 90%**	**140(149) 94%**	**79(80) 99%**	**379(406) 93%**

参考:令和6年度 調査回答学生数

調査回答学生数 [回答者:人(在籍者:人)回答率:%]	1年	2年	3年	計
幼 児 教 育	34(36) 94%	34(37) 92%	26(33) 79%	**94(106) 89%**
デザイン美術	40(47) 85%	26(44) 59%	–	**66(91) 73%**
音 楽 総 合	42(44) 96%	33(40) 83%	–	**75(84) 89%**
歯 科 衛 生	24(27) 89%	39(40) 98%	49(51) 96%	**112(118) 95%**
計	**140 (154) 91%**	132(161) 82%	75(84) 89%	**347(399) 87%**

3. 調査結果

(1)学修態度【本学における授業や授業以外の学修に関して、示されたことをどの程度行ったか】
「表2 学修態度に関する回答のまとめ」(2頁)、図1～図11(3頁～6頁)のとおり。 ※赤枠が今年度(3頁以降)

表2 学修態度に関する回答のまとめ

【 学修態度 】	幼児教育												デザイン美術								音楽総合							
	1年(n=41/42)				2年(n=33/35)				3年(n=37/38)				1年(n=37/52)				2年(n=41/45)				1年(n=31/31)				2年(n=42/45)			
回答 全体を振り返って 1:まったくしなかった 2:あまりしなかった 3:ときどきした 4:よくした (%)	まったくしなかった	あまりしなかった	ときどきした	よくした	まったくしなかった	あまりしなかった	ときどきした	よくした	まったくしなかった	あまりしなかった	ときどきした	よくした	まったくしなかった	あまりしなかった	ときどきした	よくした	まったくしなかった	あまりしなかった	ときどきした	よくした	まったくしなかった	あまりしなかった	ときどきした	よくした	まったくしなかった	あまりしなかった	ときどきした	よくした
1-授業には集中して臨んだ	2.4	4.9	34.1	58.5	0.0	6.1	21.2	72.7	10.8	8.1	29.7	51.4	8.1	5.4	27.0	59.5	2.4	17.1	19.5	61.0	9.7	9.7	12.9	67.7	7.1	4.8	11.9	76.2
2-授業に関することで、教員に質問したり意見を伝えたりした	7.3	39.0	43.9	9.8	0.0	36.4	48.5	15.2	8.1	37.8	45.9	8.1	8.1	29.7	37.8	24.3	7.3	24.4	46.3	22.0	3.2	19.4	38.7	38.7	4.8	11.9	33.3	50.0
3-授業に関することで、友達に質問したり話したりした	2.4	7.3	43.9	46.3	0.0	6.1	48.5	45.5	5.4	16.2	45.9	32.4	5.4	10.8	32.4	51.4	7.3	19.5	36.6	36.6	6.5	12.9	12.9	67.7	2.4	7.1	35.7	54.8
4-授業に関することを、授業時間外に自分で考えたり調べたりした	14.6	34.1	36.6	14.6	6.1	45.5	36.4	12.1	18.9	27.0	45.9	8.1	2.7	18.9	45.9	32.4	4.9	22.0	41.5	31.7	6.5	16.1	48.4	29.0	4.8	16.7	47.6	31.0
5-授業の予習をした	22.0	46.3	29.3	2.4	12.1	51.5	33.3	3.0	35.1	37.8	24.3	2.7	13.5	54.1	27.0	5.4	14.6	36.6	24.4	24.4	3.2	51.6	32.3	12.9	14.3	35.7	26.2	23.8
6-授業の復習をした	7.3	29.3	53.7	9.8	3.0	27.3	66.7	3.0	18.9	40.5	35.1	5.4	5.4	32.4	43.2	18.9	4.9	41.5	31.7	22.0	3.2	16.1	54.8	25.8	4.8	11.9	40.5	42.9
7-授業時間外に授業課題に取り組んだ	2.4	9.8	31.7	56.1	0.0	0.0	33.3	66.7	8.1	13.5	56.8	21.6	5.4	5.4	40.5	48.6	4.9	14.6	34.1	46.3	6.5	22.6	35.5	35.5	9.5	9.5	33.3	47.6
8-授業時間外に試験勉強に取り組んだ	9.8	2.4	26.8	61.0	0.0	15.2	42.4	42.4	13.5	5.4	67.6	13.5	8.1	29.7	29.7	32.4	12.2	36.6	34.1	17.1	9.7	12.9	29.0	48.4	4.8	4.8	26.2	64.3

【 学修態度 】	歯科衛生												全学科全学年			
	1年(n=51/52)				2年(n=24/24)				3年(n=42/42)							
回答 全体を振り返って 1:まったくしなかった 2:あまりしなかった 3:ときどきした 4:よくした (%)	まったくしなかった	あまりしなかった	ときどきした	よくした	まったくしなかった	あまりしなかった	ときどきした	よくした	まったくしなかった	あまりしなかった	ときどきした	よくした	まったくしなかった	あまりしなかった	ときどきした	よくした
1-授業には集中して臨んだ	3.9	9.8	29.4	56.9	0.0	8.3	29.2	62.5	4.8	14.3	23.8	57.1	4.9	8.8	23.9	62.3
2-授業に関することで、教員に質問したり意見を伝えたりした	13.7	33.3	43.1	9.8	8.3	33.3	29.2	29.2	4.8	45.2	33.3	16.7	6.6	31.1	40.0	22.4
3-授業に関することで、友達に質問したり話したりした	7.8	7.8	45.1	39.2	0.0	4.2	20.8	75.0	4.8	11.9	33.3	50.0	4.2	10.4	35.5	49.9
4-授業に関することを、授業時間外に自分で考えたり調べたりした	7.8	23.5	54.9	13.7	4.2	33.3	45.8	16.7	7.1	28.6	35.7	28.6	7.8	25.6	43.9	21.8
5-授業の予習をした	15.7	39.2	33.3	11.8	12.5	50.0	25.0	12.5	9.5	42.9	31.0	16.7	15.3	44.6	28.6	11.6
6-授業の復習をした	5.9	29.4	45.1	19.6	8.3	25.0	45.8	20.8	11.9	26.2	40.5	21.4	7.4	28.0	45.7	19.0
7-授業時間外に授業課題に取り組んだ	3.9	19.6	33.3	43.1	4.2	0.0	25.0	70.8	7.1	21.4	28.6	42.9	5.2	11.6	35.2	47.9
8-授業時間外に試験勉強に取り組んだ	3.9	11.8	25.5	58.8	4.2	0.0	25.0	70.8	7.1	14.3	33.3	45.2	7.3	13.3	34.0	45.4

表3 教養教育・キャリア教育の学修成果に関する回答のまとめ (※7頁以降参照)

	【 教養教育・キャリア教育の学修成果 】	幼児教育												デザイン美術							
		1年(n=41/42)				2年(n=33/35)				3年(n=37/38)				1年(n=37/52)				2年(n=41/45)			
	到達のめやす(A:100～80%, B:79～60%, C:59～20%, D:19～0%)⇒ (数字は回答率の%)	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
教養教育 知識理解	①専門分野を学ぶ基盤となる内容の理解を深め、知識を身につける	7.3	68.3	24.4	0.0	6.1	84.8	9.1	0.0	18.2	70.3	13.5	0.0	18.9	64.9	13.5	2.7	24.4	53.7	19.5	2.4
教養教育 知識理解	②社会人に求められる社会変化への対応や地域への貢献などに必要な内容の理解を深め、知識を身につける	7.3	70.7	19.5	2.4	12.1	73.8	12.1	0.0	18.2	70.3	13.5	0.0	13.5	54.1	29.7	2.7	7.3	58.5	29.3	4.9
教養教育 思考判断	③人間や文化、社会などに関して現実の課題等に結びつけて考え、適切に判断してこれを表現することの基礎を培う	12.2	58.5	29.3	0.0	12.1	69.7	18.2	0.0	21.6	59.5	18.9	0.0	16.2	56.8	24.3	2.7	19.5	43.9	31.7	4.9
教養教育 思考判断	④専門分野を学ぶための基盤となる総合的な思考力や判断力、表現力の基礎を培う	12.2	73.2	14.6	0.0	6.1	78.8	12.1	3.0	18.2	73.0	8.1	2.7	21.6	64.9	8.1	5.4	22.0	56.1	17.1	2.4
教養教育 技能	⑤専門分野を学ぶための基盤となる共通の学問的な技能や技術を身につける	7.3	68.3	24.4	0.0	6.1	81.8	12.1	0.0	13.5	70.3	10.8	5.4	16.2	62.2	16.2	5.4	31.7	43.9	14.6	9.8
教養教育 技能	⑥社会人に必要なコミュニケーション能力や社会生活の基本となる技能について、その基礎を身につける	24.4	58.1	19.5	0.0	24.2	63.6	12.1	0.0	18.9	67.6	10.8	2.7	16.2	37.8	37.8	8.1	19.5	53.7	24.4	2.4
教養教育 関意態	⑦学修内容に興味や関心を持ち、見通しをもって主体的、意欲的に取り組む	31.7	48.3	17.1	4.9	30.3	63.6	6.1	0.0	13.5	70.3	16.2	0.0	18.9	67.6	5.4	8.1	39.0	43.9	14.6	2.4
教養教育 関意態	⑧地域などの社会に関心を持ち、専門分野での学びとともに学んだことを将来役立てていこうと考えながら取り組む	26.8	58.5	12.2	2.4	12.1	75.8	12.1	0.0	18.9	67.6	13.5	0.0	10.8	54.1	32.4	2.7	17.1	48.3	34.1	2.4
キャリア教育 知識理解	①職業や就労に関する基本的事項についての理解を深め、知識を身につける	4.9	63.4	31.7	0.0	9.1	78.8	12.1	0.0	18.9	62.2	18.2	2.7	13.5	45.9	37.8	2.7	17.1	53.7	24.4	4.9
キャリア教育 知識理解	②キャリアに関連する社会のしくみ、社会人に必要な基礎的な内容の理解を深め、知識を身につける	9.8	68.3	22.0	0.0	6.1	78.8	15.2	0.0	18.2	62.2	18.2	5.4	10.8	45.9	40.5	2.7	19.5	39.0	39.0	2.4
キャリア教育 思考判断	③社会的、職業的自立に向けた将来の構想、自己のキャリアについての適性を見定め、必要な能力を開発するなどの思考力、判断力の基礎を培う	12.2	61.0	24.4	2.4	9.1	72.7	18.2	0.0	18.2	62.2	18.2	5.4	8.1	62.2	24.3	5.4	14.6	48.8	31.7	4.9
キャリア教育 思考判断	④将来の進路選択のための課題解決等に関する総合的な思考力や判断力、表現力の基礎を培う	7.3	73.6	14.6	2.4	27.3	54.5	18.2	0.0	18.2	62.2	18.9	2.7	13.5	40.5	40.5	5.4	17.1	58.1	24.4	2.4
キャリア教育 技能	⑤社会において活用できる専門的な知識や技術などの基礎的な技能を身に付ける	4.9	78.0	17.1	0.0	9.1	72.8	15.2	0.0	13.5	67.6	18.2	2.7	8.1	64.9	24.3	2.7	24.4	39.0	31.7	4.9
キャリア教育 技能	⑥キャリアの修得や進路選択のために必要な計画の立案に取り組む	17.1	31.2	31.7	0.0	18.2	69.7	12.1	0.0	18.2	67.6	13.5	2.7	13.5	34.1	27.0	5.4	22.0	48.8	26.8	2.4
キャリア教育 関意態	⑦協働の基礎となる集団におけるマナーやコミュニケーション等に関する基礎的な技能を身につける	26.8	63.4	9.8	0.0	33.3	51.5	15.2	0.0	21.6	62.2	10.8	5.4	13.5	43.9	33.1	5.4	26.8	39.0	31.7	2.4
キャリア教育 関意態	⑧社会の中で自己の役割を果たすことに興味や関心を持ち、見通しをもって主体的、意欲的に取り組む	22.0	63.4	12.2	2.4	39.4	54.5	3.0	3.0	13.5	67.6	18.2	2.7	24.3	56.8	13.5	5.4	29.3	43.9	24.4	2.4
キャリア教育 関意態	⑨キャリアを基本とした自己認識と将来設計に関心を持ち、自己の将来の姿を描くことに取り組む	12.2	73.2	14.6	0.0	18.2	69.7	12.1	0.0	10.8	75.7	13.5	0.0	13.5	48.6	32.4	5.4	26.8	36.6	31.7	4.9
キャリア教育 関意態	⑩地域社会に関心を持ち、社会人として必要な行動様式を身につけていこうと考えながら取り組む	9.8	78.0	9.8	2.4	27.3	63.6	9.1	0.0	13.5	67.6	18.9	0.0	13.5	62.2	18.9	5.4	17.1	41.5	34.1	7.3

	【 教養教育・キャリア教育の学修成果 】	音楽総合								歯科衛生												全学科全学年				全学科2学年以上			
		1年(n=31/31)				2年(n=42/45)				1年(n=51/52)				2年(n=24/24)				3年(n=42/42)											
	到達のめやす(A:100～80%, B:79～60%, C:59～20%, D:19～0%)⇒ (数字は回答率の%)	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
教養教育 知識理解	①専門分野を学ぶ基盤となる内容の理解を深め、知識を身につける	19.4	74.2	3.2	3.2	33.3	54.8	7.1	4.8	9.8	68.6	21.6	0.0	25.0	62.5	12.5	0.0	16.2	59.5	11.9	4.8	17.7	68.2	13.6	1.8	20.2	64.3	12.9	2.0
教養教育 知識理解	②社会人に求められる社会変化への対応や地域への貢献などに必要な内容の理解を深め、知識を身につける	16.1	67.7	12.9	3.2	21.4	57.1	16.7	4.8	11.8	64.7	21.6	2.0	25.0	58.3	16.7	0.0	10.8	61.9	11.9	4.8	14.2	63.9	18.4	2.5	15.5	63.7	16.7	2.4
教養教育 思考判断	③人間や文化、社会などに関して現実の課題等に結びつけて考え、適切に判断してこれを表現することの基礎を培う	19.4	61.3	16.1	3.2	28.6	57.1	11.9	2.4	11.8	64.7	23.5	0.0	20.8	58.3	20.8	0.0	21.6	47.6	14.3	7.1	18.4	57.7	20.9	2.0	20.7	56.0	19.3	2.4
教養教育 思考判断	④専門分野を学ぶための基盤となる総合的な思考力や判断力、表現力の基礎を培う	32.3	51.6	12.9	3.2	38.1	52.4	4.8	4.8	13.7	68.7	19.6	0.0	33.3	58.3	8.3	0.0	0.0	45.2	14.3	7.1	19.3	62.3	12.0	2.9	19.3	61.0	10.8	3.3
教養教育 技能	⑤専門分野を学ぶための基盤となる共通の学問的な技能や技術を身につける	22.6	64.5	9.7	3.2	31.0	57.1	4.8	7.1	9.8	72.5	17.6	0.0	33.3	54.2	12.5	0.0	13.3	45.2	16.7	7.1	18.3	62.0	13.9	3.8	21.5	58.8	11.9	4.9
教養教育 技能	⑥社会人に必要なコミュニケーション能力や社会生活の基本となる技能について、その基礎を身につける	22.6	41.9	32.3	3.2	35.7	42.9	19.0	2.4	13.7	60.8	25.5	0.0	45.8	45.8	4.2	4.2	18.9	45.2	19.0	7.1	24.0	51.3	20.5	3.0	27.2	53.1	14.9	3.1
教養教育 関意態	⑦学修内容に興味や関心を持ち、見通しをもって主体的、意欲的に取り組む	29.0	54.8	9.7	6.5	40.5	47.6	7.1	4.8	17.6	68.6	13.7	0.0	45.8	45.8	8.3	0.0	13.5	32.4	11.9	2.4	28.0	58.1	11.0	2.9	30.4	53.9	10.7	1.6
教養教育 関意態	⑧地域などの社会に関心を持ち、専門分野での学びとともに学んだことを将来役立てていこうと考えながら取り組む	19.4	64.5	12.9	3.2	21.4	59.5	16.7	2.4	19.6	58.9	20.5	0.0	37.5	54.2	4.2	4.2	18.9	45.2	16.7	2.4	20.3	58.3	17.8	2.0	21.0	58.1	16.2	1.9
キャリア教育 知識理解	①職業や就労に関する基本的事項についての理解を深め、知識を身につける	33.3	48.4	12.9	3.2	28.2	59.5	11.9	2.4	9.8	74.5	13.7	2.0	29.2	58.3	12.5	0.0	18.9	54.8	14.3	4.8	18.3	59.9	18.8	2.3	19.9	61.2	15.2	2.5
キャリア教育 知識理解	②キャリアに関連する社会のしくみ、社会人に必要な基礎的な内容の理解を深め、知識を身につける	19.4	64.5	12.9	3.2	28.6	59.5	9.5	2.4	9.8	68.6	19.6	2.0	20.8	58.3	20.8	0.0	18.2	57.1	14.3	2.4	15.7	60.2	21.0	2.0	17.9	59.2	19.2	2.1
キャリア教育 思考判断	③社会的、職業的自立に向けた将来の構想、自己のキャリアについての適性を見定め、必要な能力を開発するなどの思考力、判断力の基礎を培う	22.6	64.5	9.7	3.2	40.5	50.0	7.1	2.4	15.7	62.7	19.6	2.0	20.8	75.0	4.2	0.0	18.2	50.0	19.0	2.4	17.8	60.9	17.4	2.8	19.6	59.8	16.1	2.5
キャリア教育 思考判断	④将来の進路選択のための課題解決等に関する総合的な思考力や判断力、表現力の基礎を培う	19.4	67.7	12.9	3.2	28.6	57.1	11.9	2.4	11.8	68.7	19.6	2.0	25.0	70.8	4.2	0.0	18.2	52.4	11.9	2.4	17.9	60.4	17.7	2.3	21.7	58.9	14.9	1.7
キャリア教育 技能	⑤社会において活用できる専門的な知識や技術などの基礎的な技能を身に付ける	6.5	74.2	16.1	3.2	28.2	52.4	19.0	2.4	17.6	68.7	13.7	0.0	29.2	66.7	4.2	0.0	13.5	30.0	16.7	2.4	13.3	63.5	17.6	1.8	19.3	58.6	17.2	2.1
キャリア教育 技能	⑥キャリアの修得や進路選択のために必要な計画の立案に取り組む	33.3	48.4	12.9	3.2	31.0	52.4	14.3	2.4	17.6	70.6	9.8	2.0	37.5	58.3	4.2	0.0	18.2	47.6	19.0	2.4	22.3	58.9	17.1	2.0	23.5	57.4	15.0	1.7
キャリア教育 関意態	⑦協働の基礎となる集団におけるマナーやコミュニケーション等に関する基礎的な技能を身につける	19.4	67.7	9.7	3.2	33.3	54.8	7.1	4.8	17.6	70.6	11.8	0.0	45.8	50.0	4.2	0.0	21.6	45.2	14.3	4.8	26.0	53.0	15.0	2.5	30.4	50.5	13.9	2.9
キャリア教育 関意態	⑧社会の中で自己の役割を果たすことに興味や関心を持ち、見通しをもって主体的、意欲的に取り組む	25.8	61.3	9.7	3.2	40.5	47.6	9.5	2.4	19.6	68.6	11.8	0.0	30.0	45.8	4.2	0.0	13.5	34.8	9.5	7.1	27.8	58.4	11.4	2.9	31.0	52.4	11.1	2.9
キャリア教育 関意態	⑨キャリアを基本とした自己認識と将来設計に関心を持ち、自己の将来の姿を描くことに取り組む	19.4	54.8	22.6	3.2	33.3	50.0	11.9	4.8	19.6	68.7	13.7	0.0	37.5	58.3	4.2	0.0	10.8	30.0	16.7	4.8	20.2	58.4	17.3	2.3	22.9	56.7	15.0	2.4
キャリア教育 関意態	⑩地域社会に関心を持ち、社会人として必要な行動様式を身につけていこうと考えながら取り組む	22.6	67.7	6.5	3.2	28.2	59.5	14.3	0.0	19.6	68.7	11.8	2.0	33.3	54.2	12.5	0.0	13.5	59.3	9.5	4.8	19.8	62.1	14.3	2.5	21.6	57.6	16.4	2.0

■ は１年生よりA評価の高い項目

①幼児教育学科

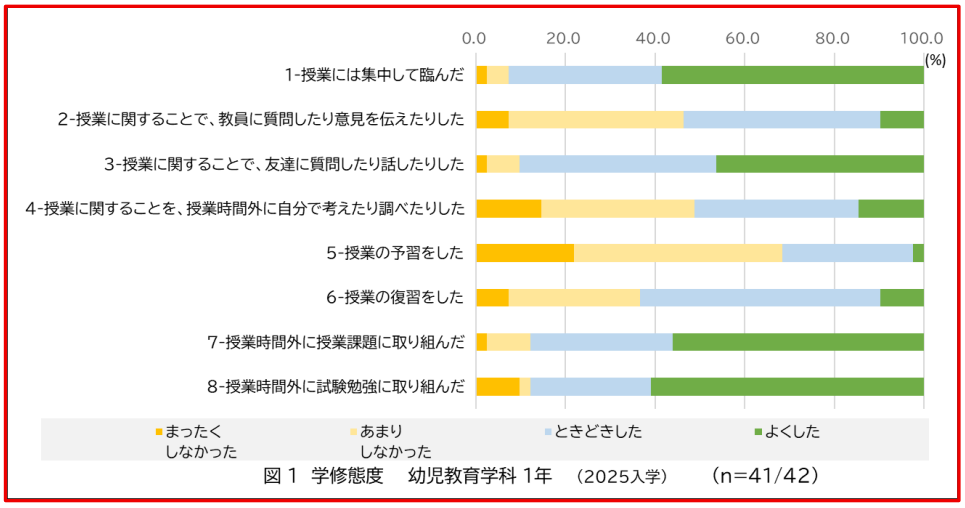


図１ 学修態度　幼児教育学科 1年　（2025入学）　（n=41/42）

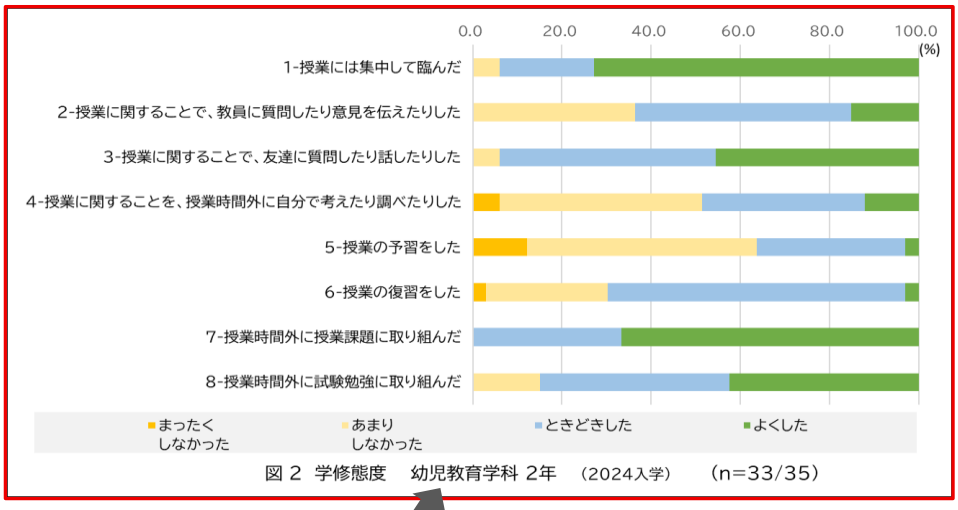
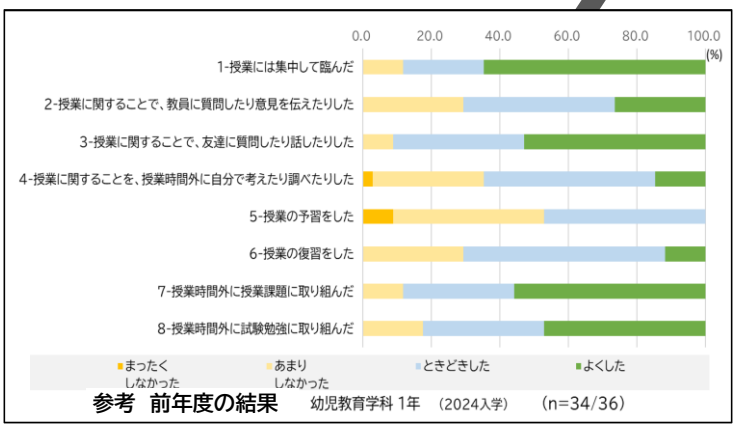
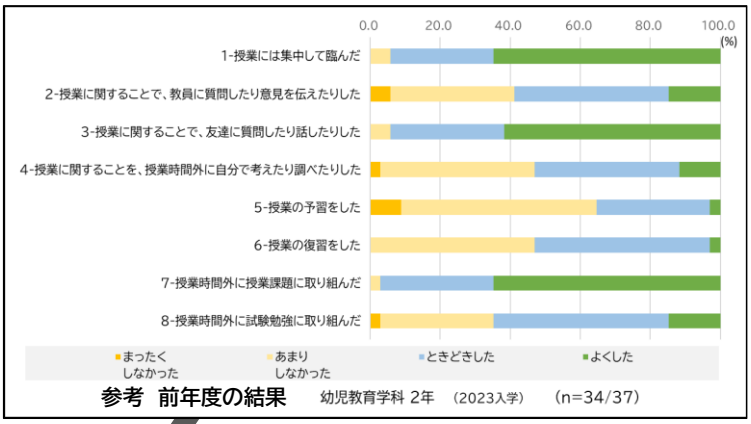


図２ 学修態度　幼児教育学科 2年　（2024入学）　（n=33/35）



参考　前年度の結果　幼児教育学科 1年　（2024入学）　（n=34/36）



参考　前年度の結果　幼児教育学科 2年　（2023入学）　（n=34/37）

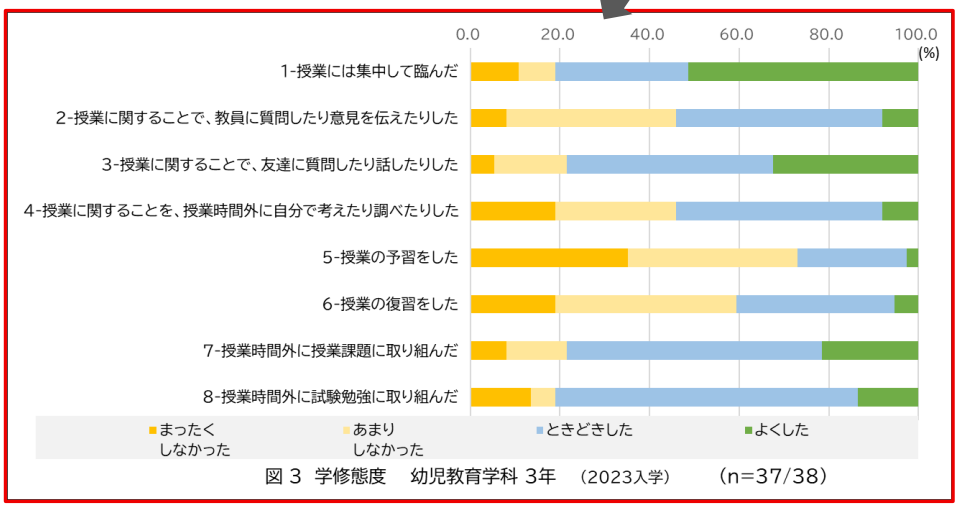


図３ 学修態度　幼児教育学科 3年　（2023入学）　（n=37/38）

②デザイン美術学科

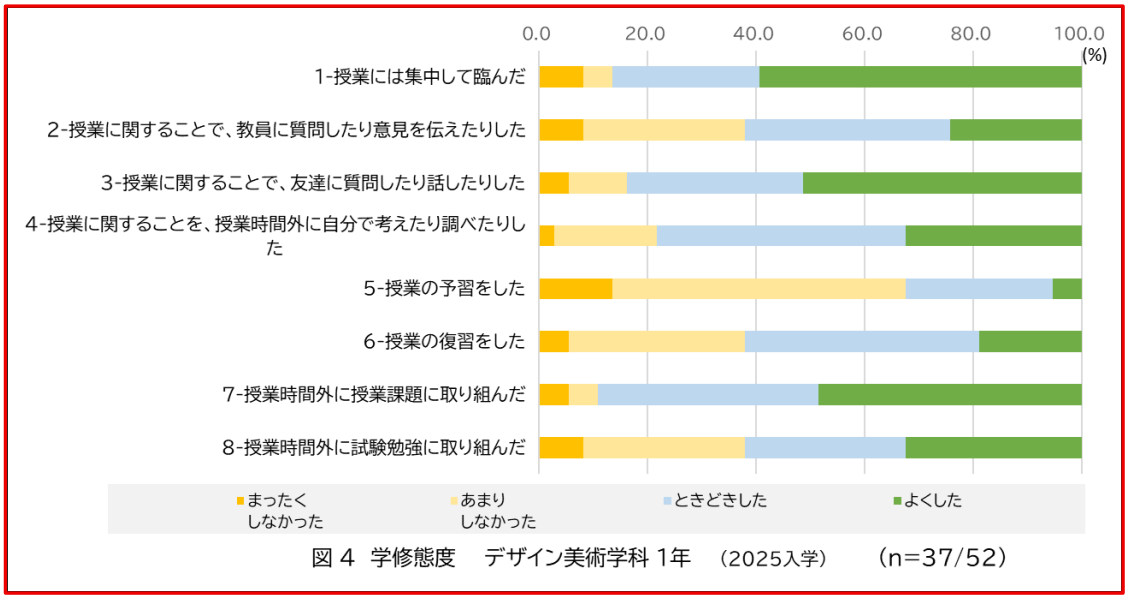
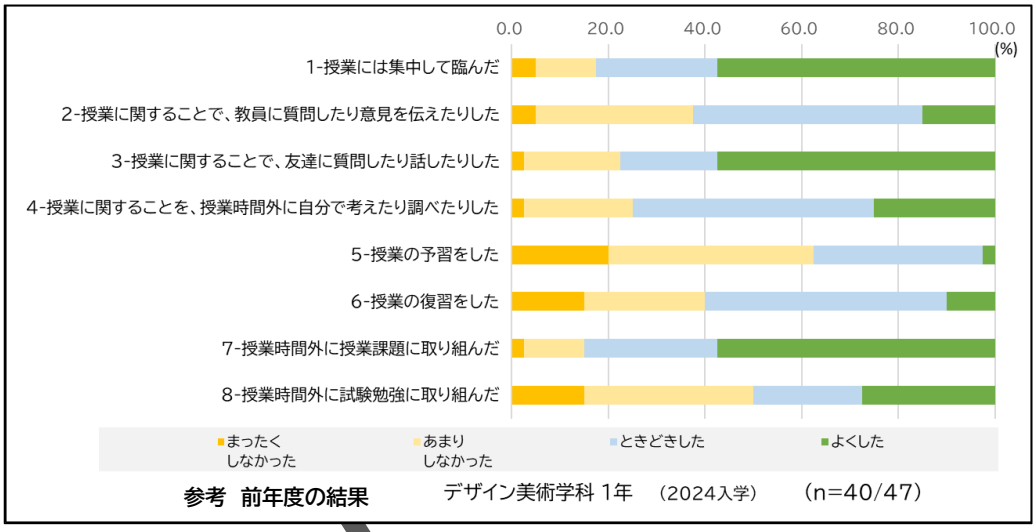


図 4　学修態度　デザイン美術学科 1年　（2025入学）　（n=37/52）



参考　前年度の結果　デザイン美術学科 1年　（2024入学）　（n=40/47）

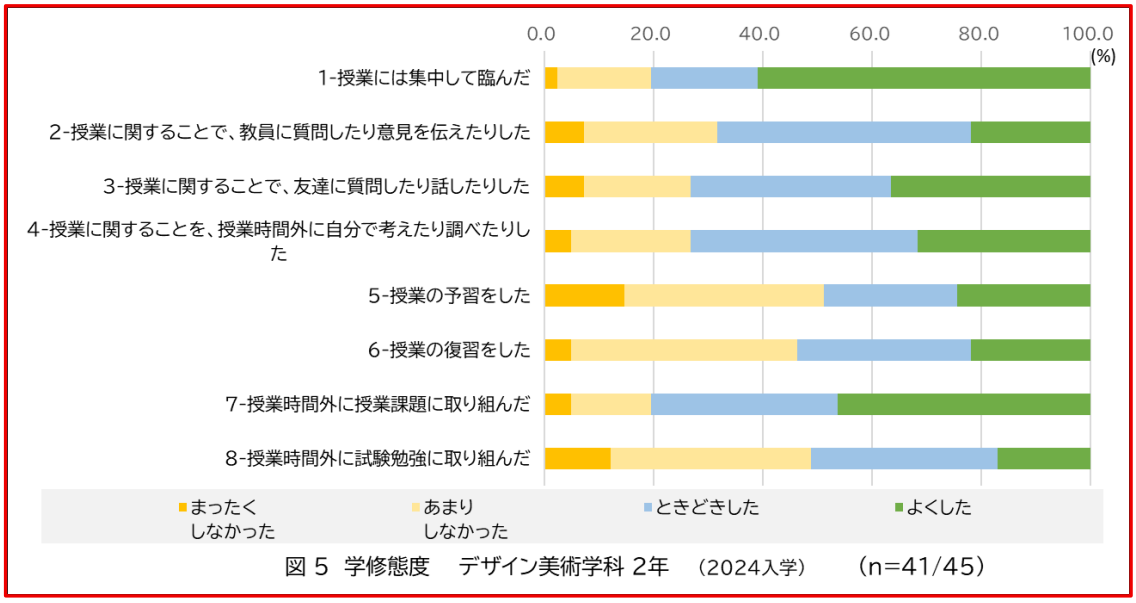


図 5　学修態度　デザイン美術学科 2年　（2024入学）　（n=41/45）

③音楽総合学科

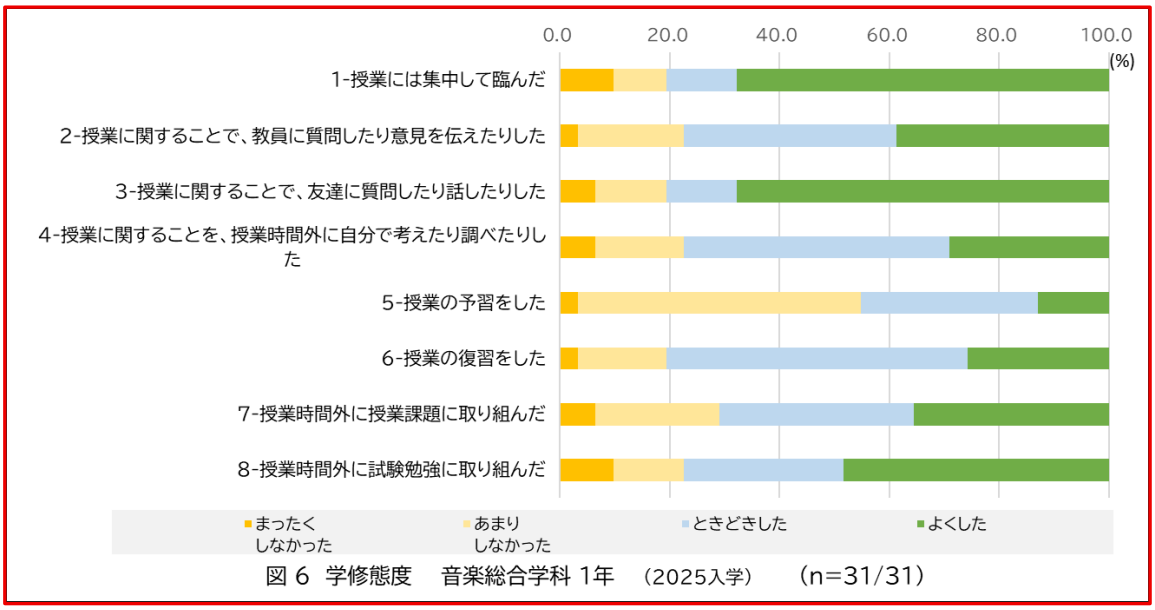
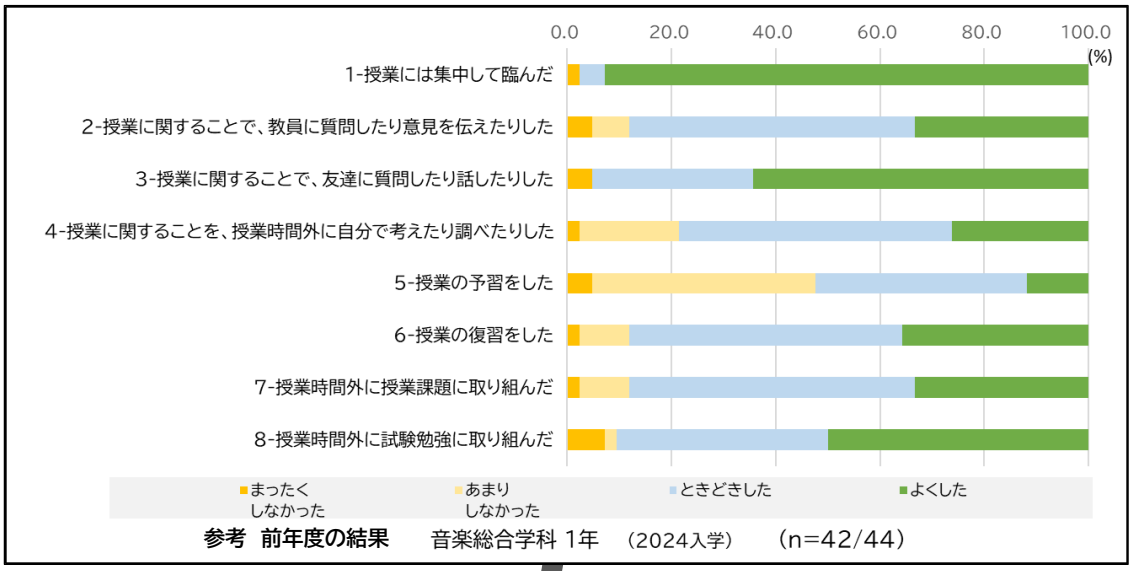


図 6　学修態度　音楽総合学科 1年　（2025入学）　（n=31/31）



参考　前年度の結果　音楽総合学科 1年　（2024入学）　（n=42/44）

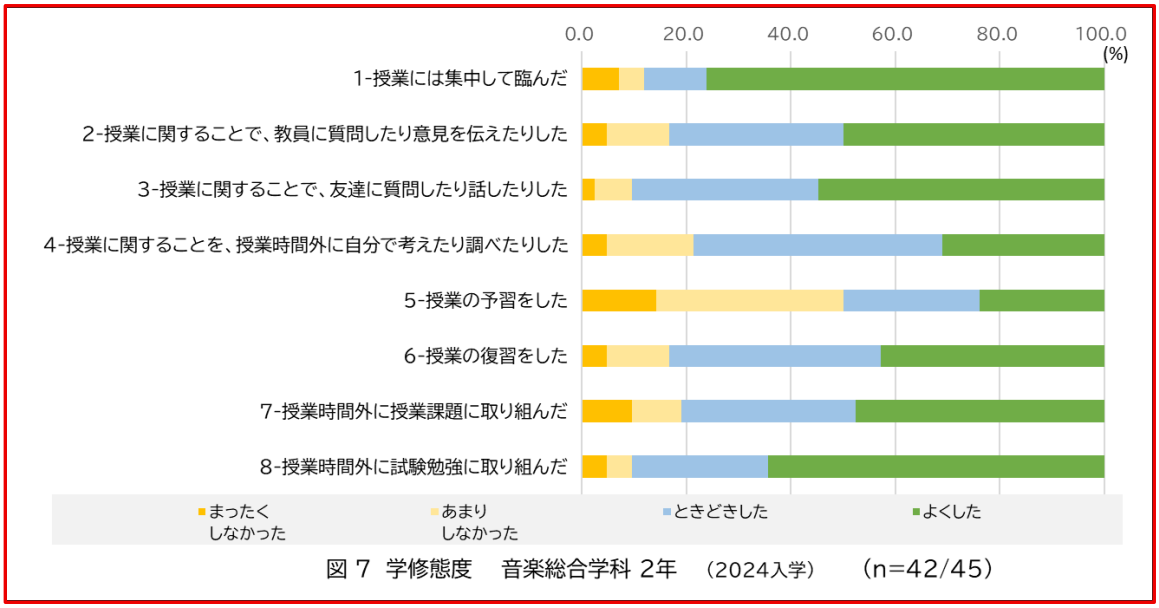


図 7　学修態度　音楽総合学科 2年　（2024入学）　（n=42/45）

④歯科衛生学科

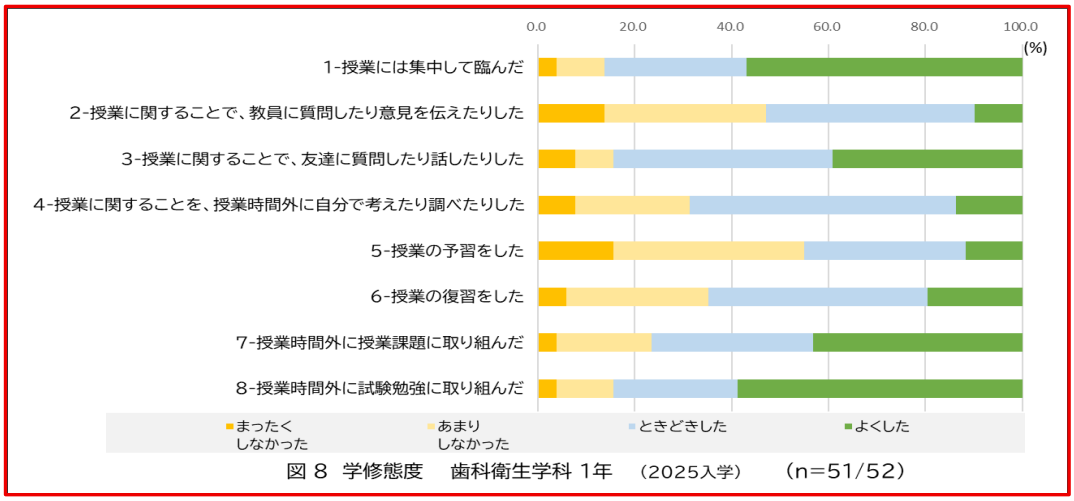


図 8　学修態度　歯科衛生学科 1年　（2025入学）　（n=51/52）

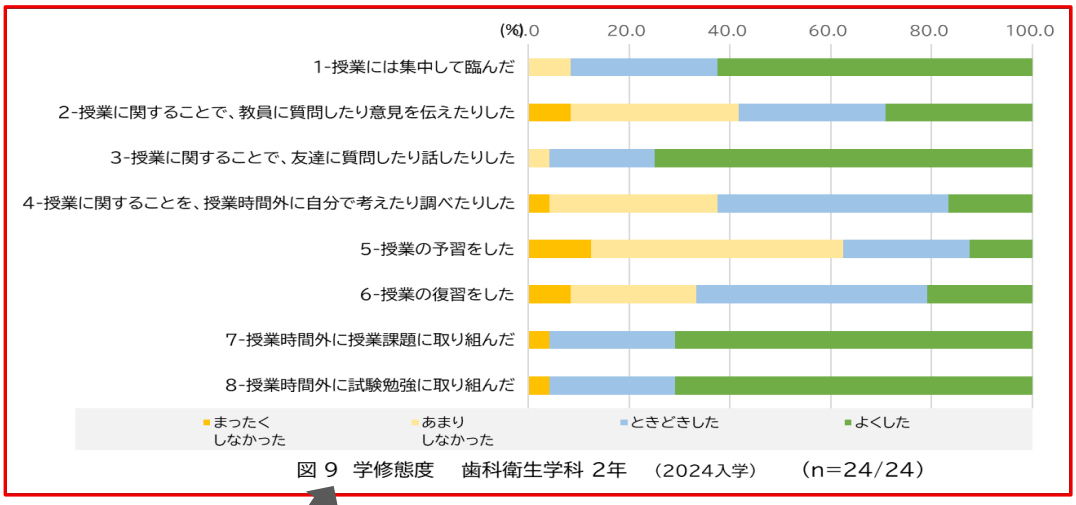
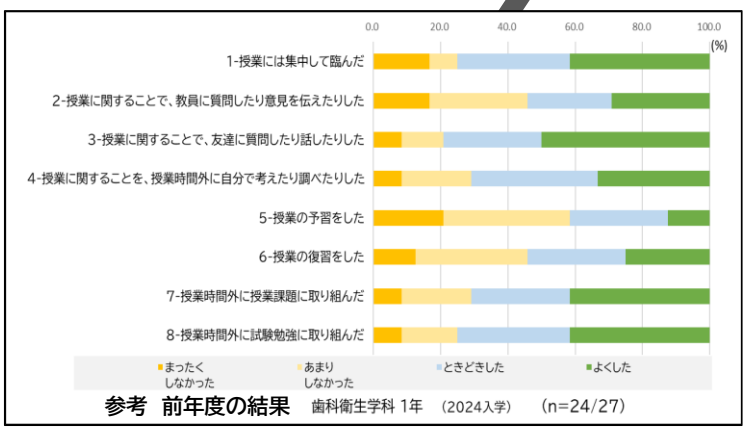
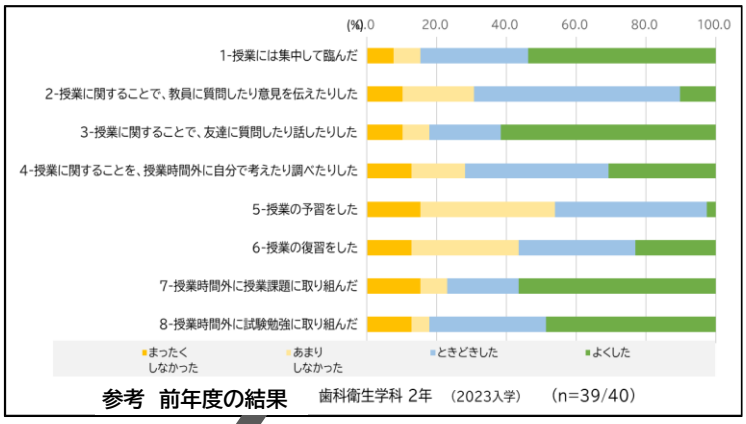


図 9　学修態度　歯科衛生学科 2年　（2024入学）　（n=24/24）



参考　前年度の結果　歯科衛生学科 1年　（2024入学）　（n=24/27）



参考　前年度の結果　歯科衛生学科 2年　（2023入学）　（n=39/40）

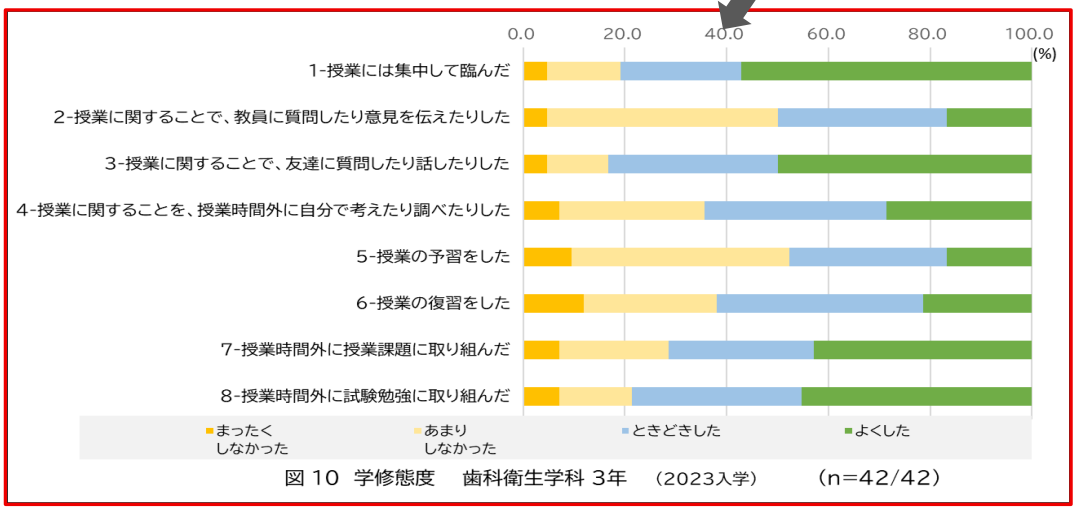


図 10　学修態度　歯科衛生学科 3年　（2023入学）　（n=42/42）

（2）教養教育及びキャリア教育の学修成果　【入学後、教養教育・キャリア教育に関してどの程度修得できたか】

「表3 教養教育・キャリア教育の学修成果に関する回答のまとめ」(2頁)、図 11～図 20 (7 頁～11 頁)のとおり。

①幼児教育学科

到達のめやす（ A:100～80%、B:79～60%、C:59～20%、D:19～0% ）

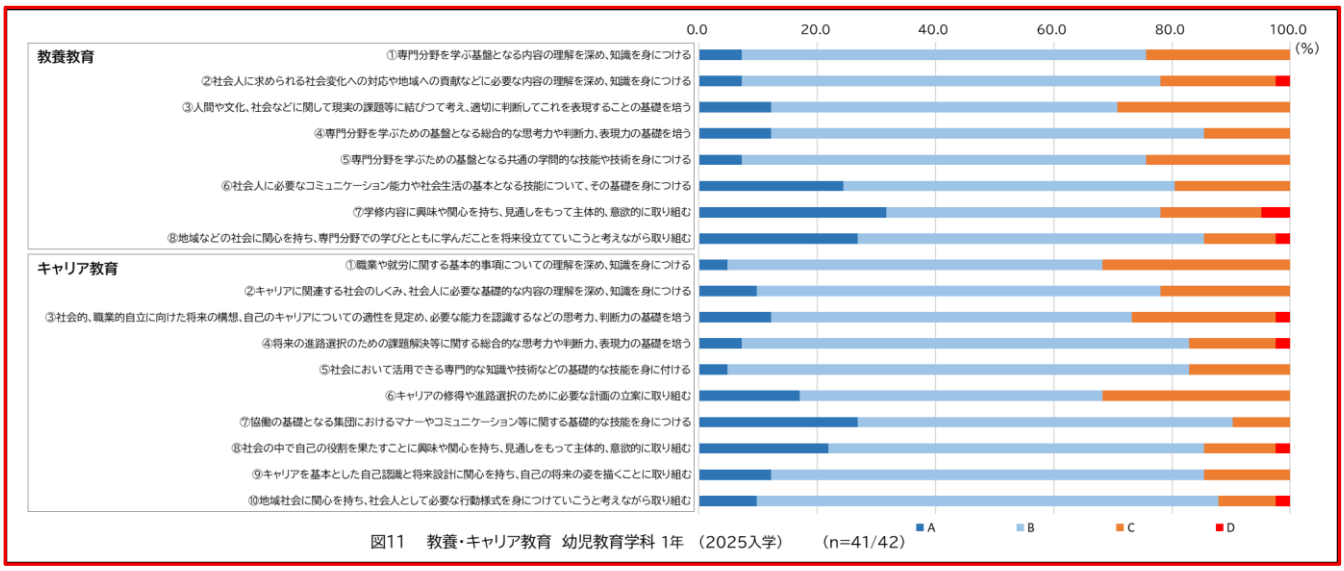
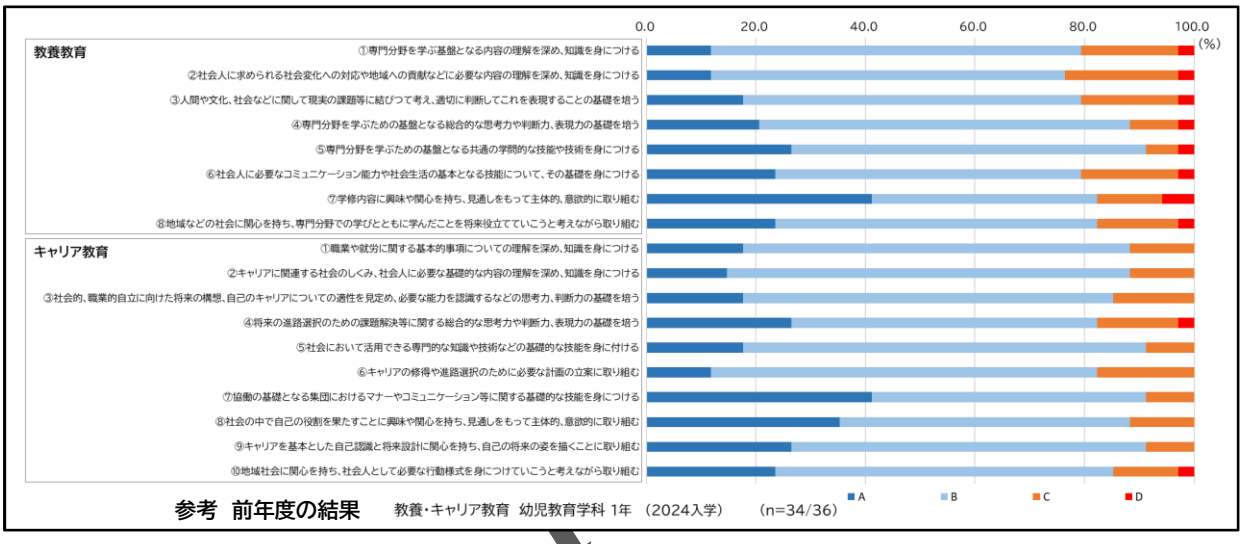


図11　教養・キャリア教育　幼児教育学科 1年　（2025入学）　（n=41/42）



参考　前年度の結果　教養・キャリア教育　幼児教育学科 1年　（2024入学）　（n=34/36）

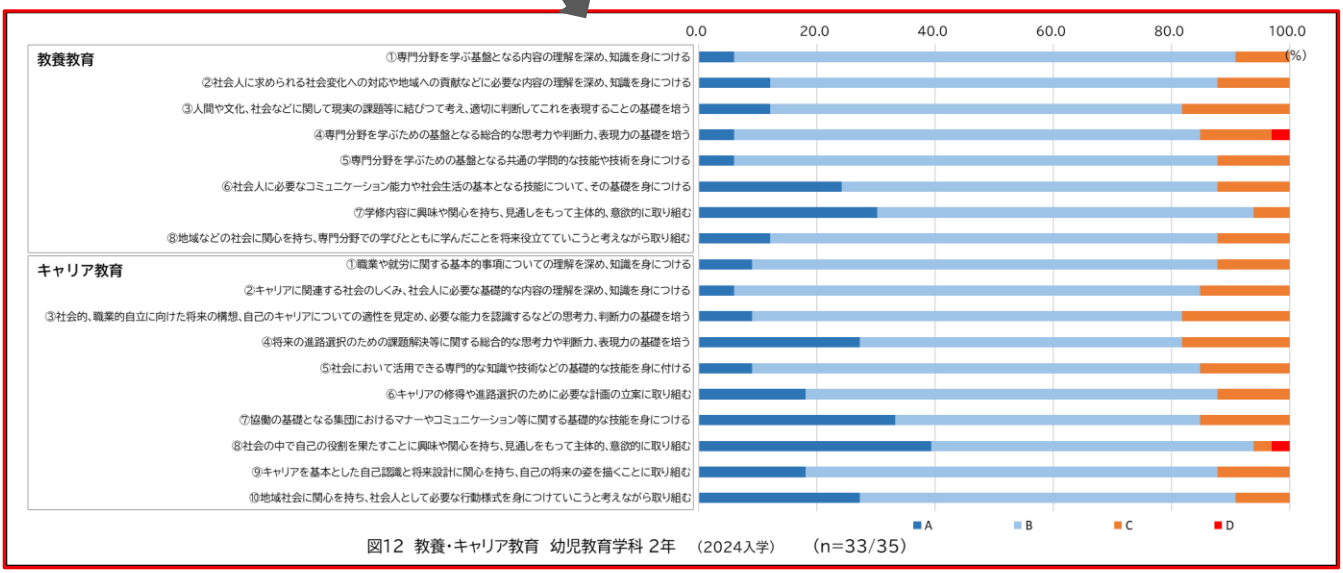
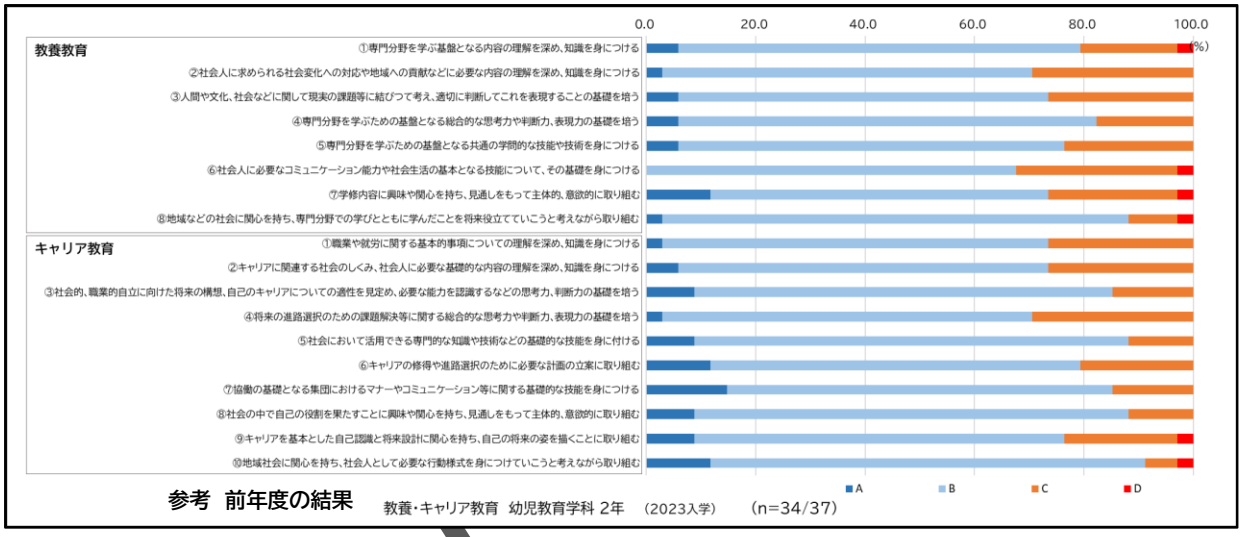


図12　教養・キャリア教育　幼児教育学科 2年　（2024入学）　（n=33/35）



参考　前年度の結果　教養・キャリア教育　幼児教育学科 2年　（2023入学）　（n=34/37）

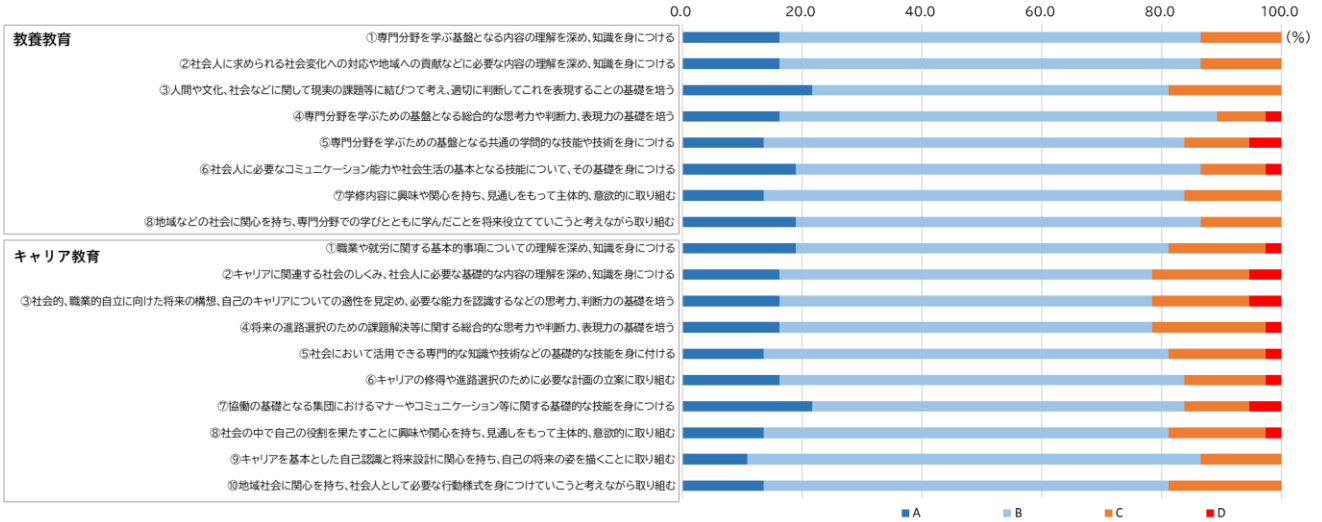


図13　教養・キャリア教育　幼児教育学科 3年　（2023入学）　（n=37/38）

②デザイン美術学科

到達のめやす（ A:100～80%、B:79～60%、C:59～20%、D:19～0% ）

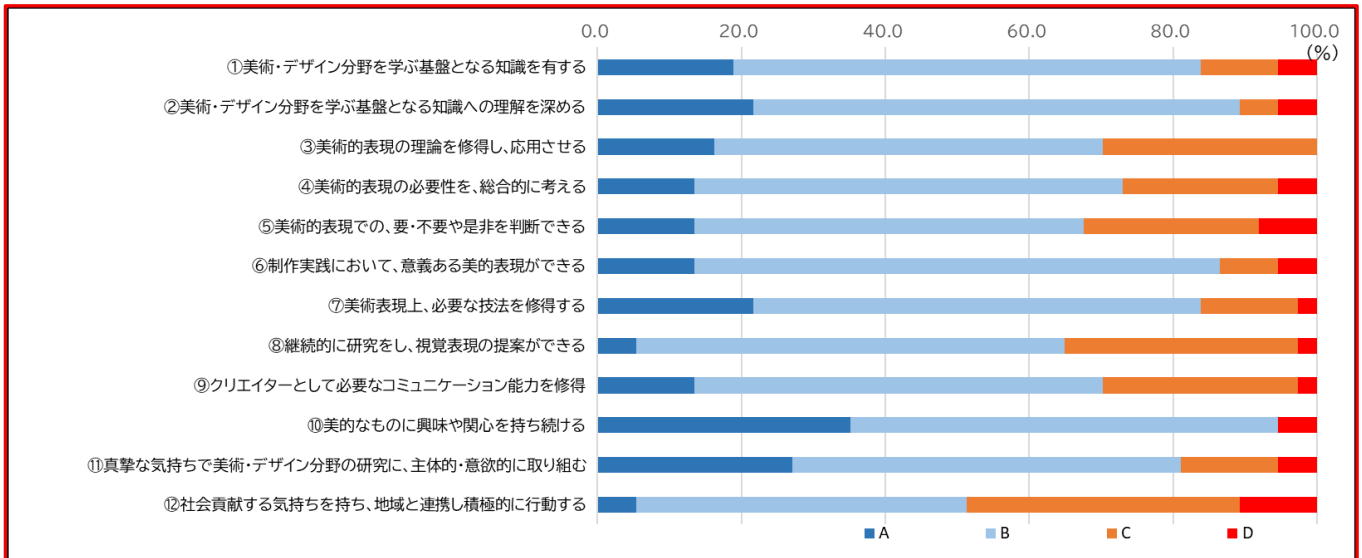
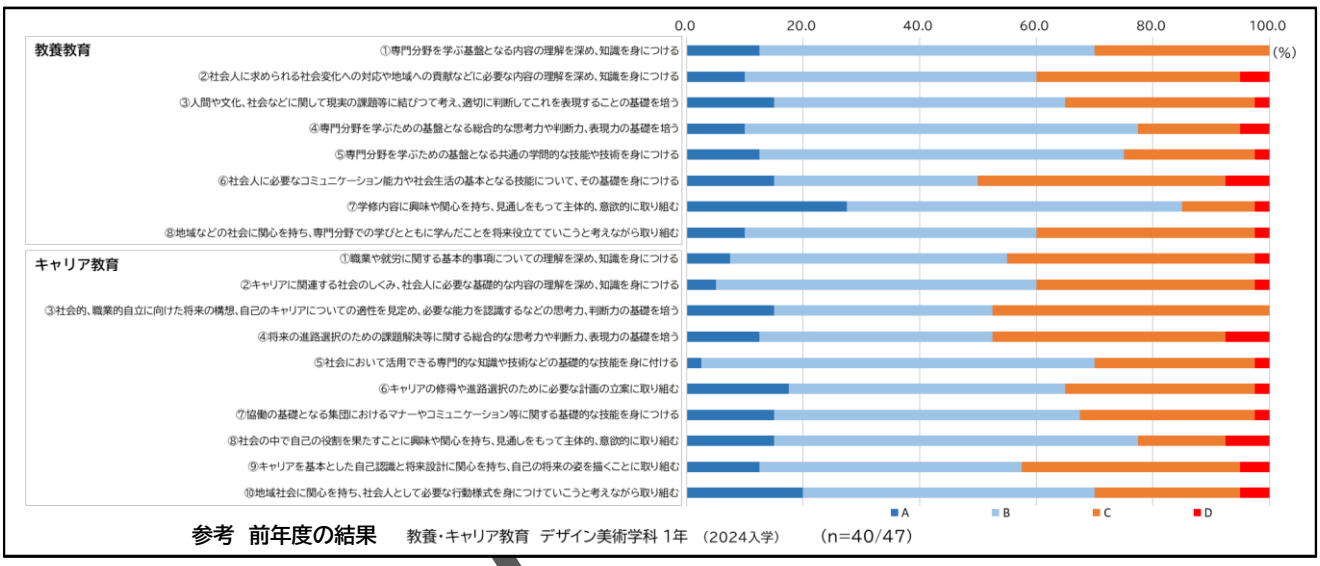


図 24　専門教育　デザイン美術学科 1年（2025入学）　（n=37/52）



参考　前年度の結果　教養・キャリア教育　デザイン美術学科 1年　（2024入学）　（n=40/47）

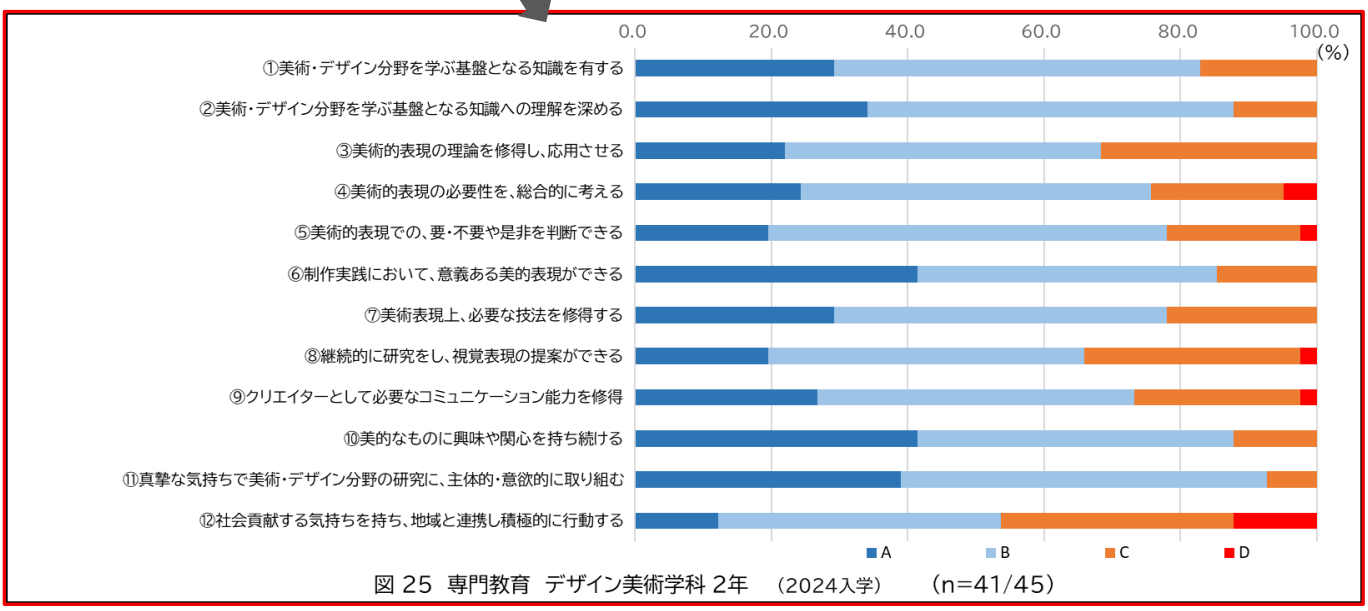


図 25　専門教育　デザイン美術学科 2年　（2024入学）　（n=41/45）

到達のめやす（ A:100～80%、B:79～60%、C:59～20%、D:19～0% ）

③音楽総合学科

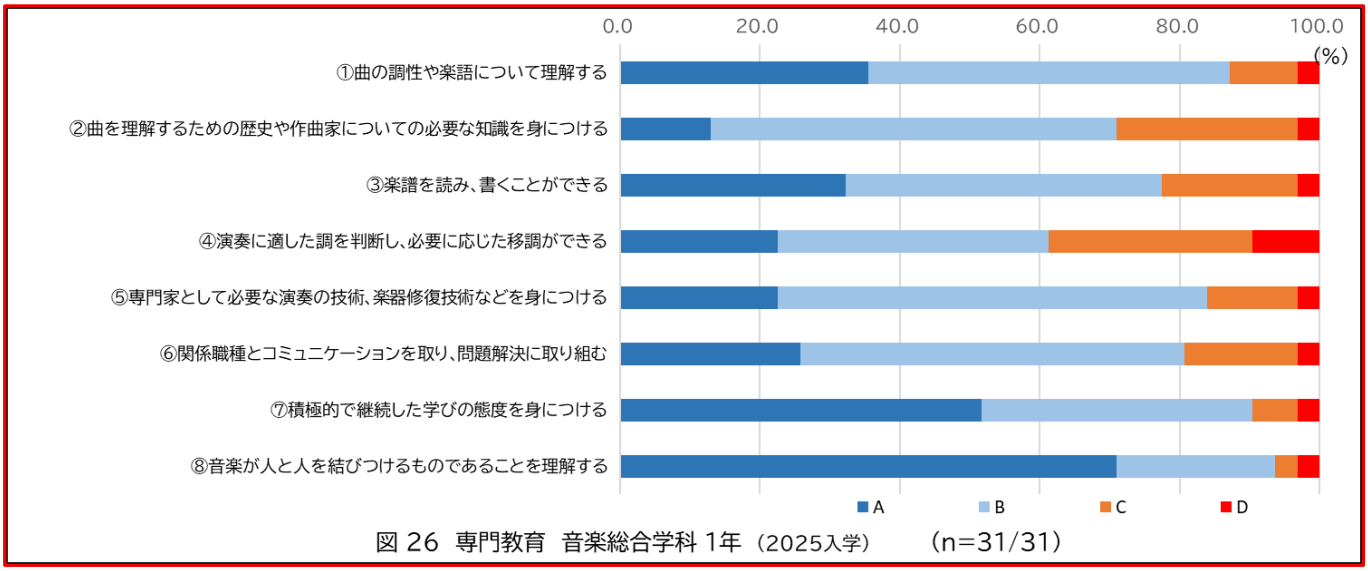
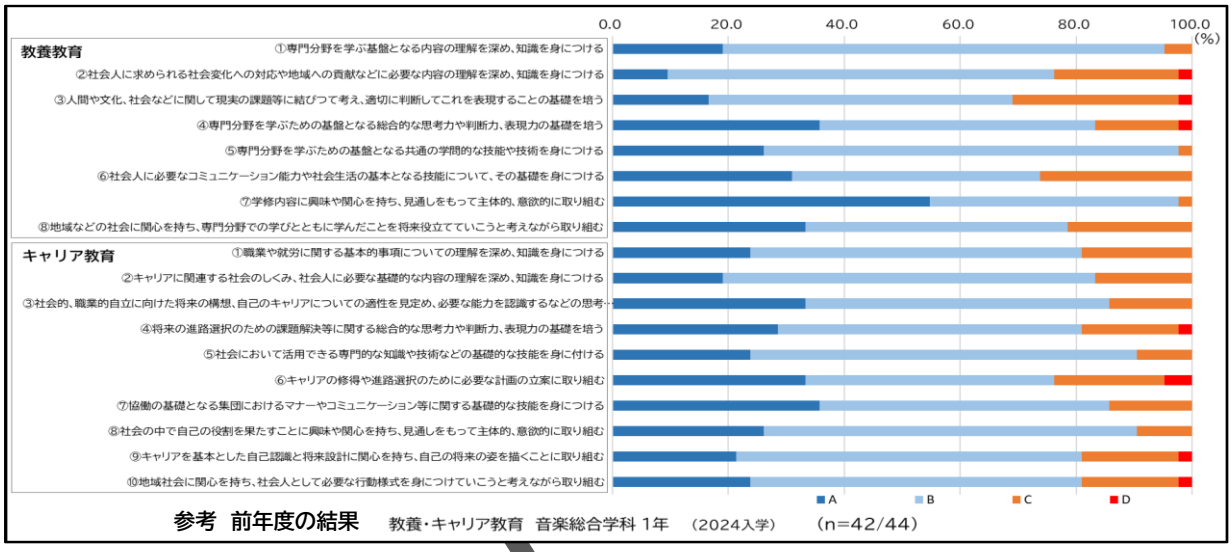


図 26　専門教育　音楽総合学科 1年　（2025入学）　（n=31/31）



参考　前年度の結果　教養・キャリア教育　音楽総合学科 1年　（2024入学）　（n=42/44）

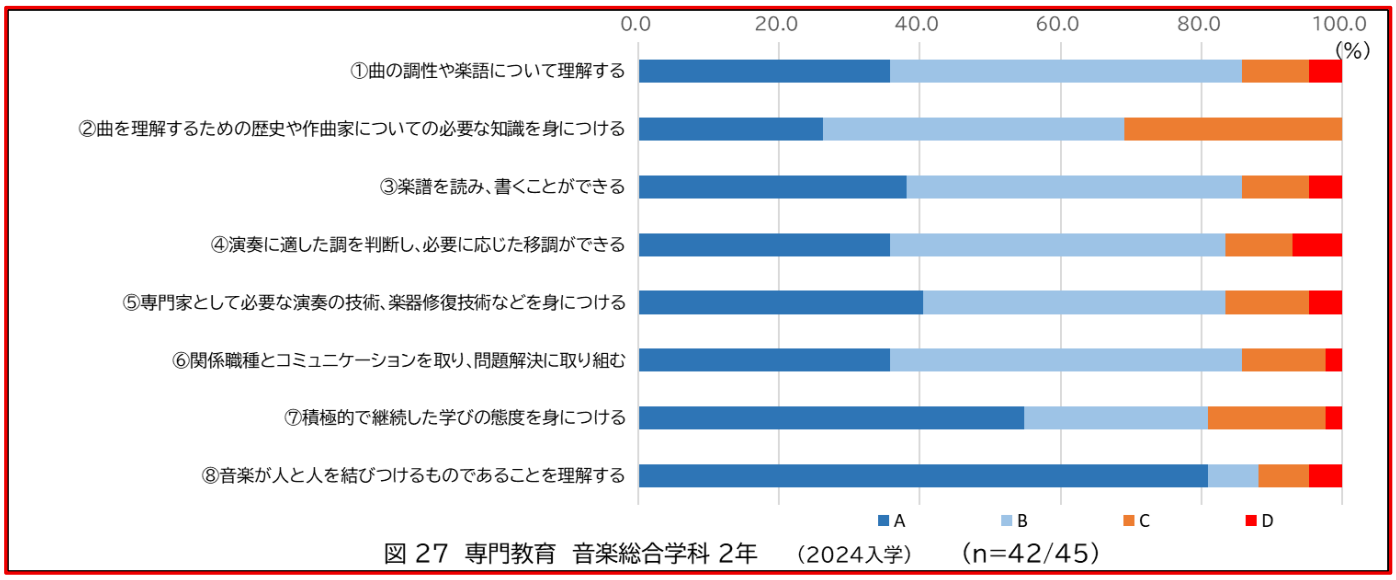


図 27　専門教育　音楽総合学科 2年　（2024入学）　（n=42/45）

④歯科衛生学科

到達のめやす（ A:100～80%、B:79～60%、C:59～20%、D:19～0% ）

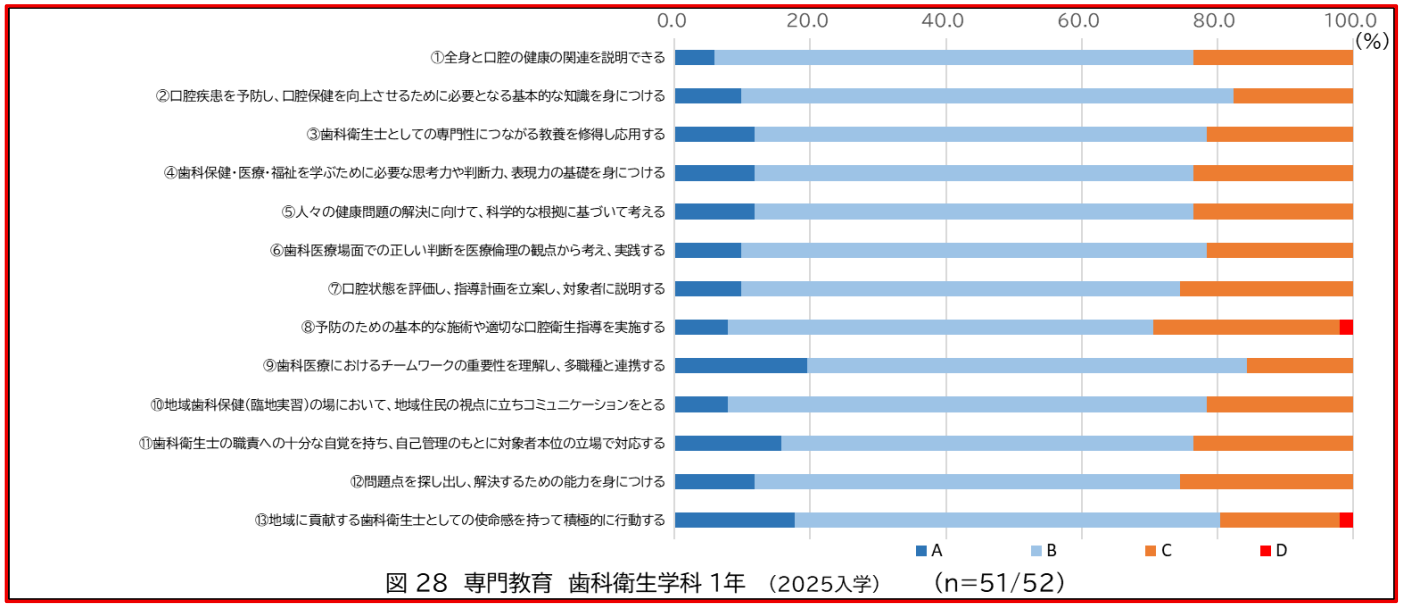
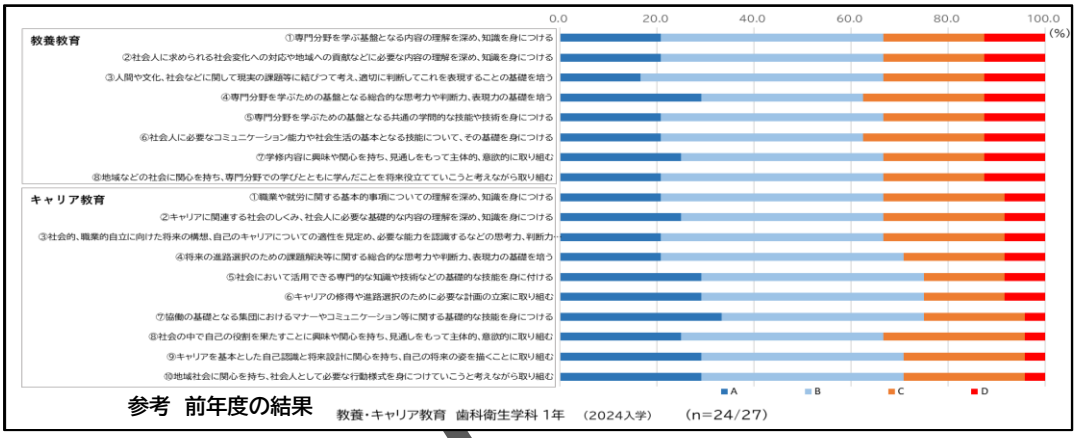


図 28　専門教育　歯科衛生学科 1年　（2025入学）　（n=51/52）



参考　前年度の結果　教養・キャリア教育　歯科衛生学科 1年　（2024入学）　（n=24/27）

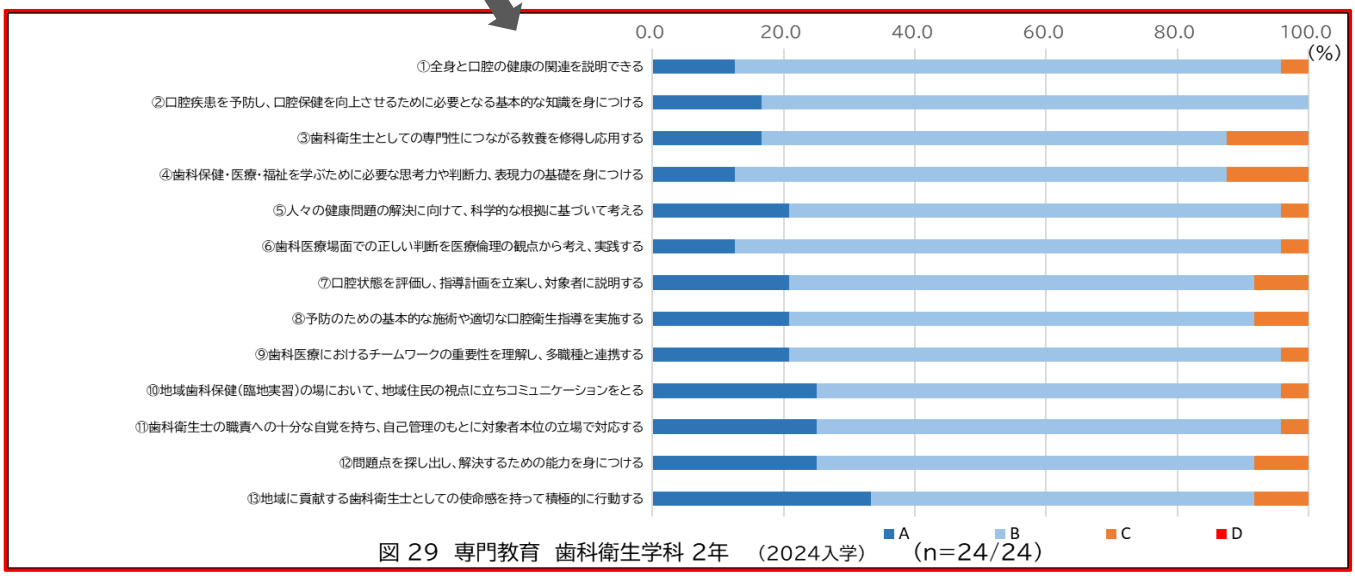
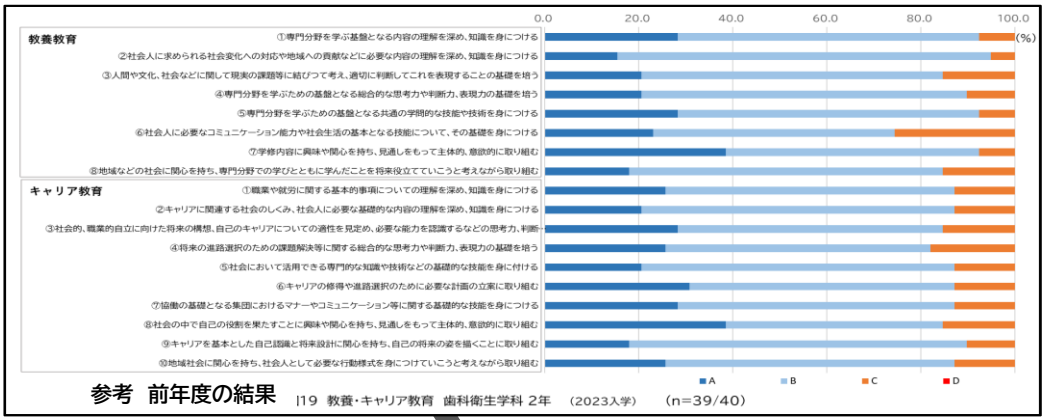


図 29　専門教育　歯科衛生学科 2年　（2024入学）　（n=24/24）



参考　前年度の結果　I19　教養・キャリア教育　歯科衛生学科 2年　（2023入学）　（n=39/40）

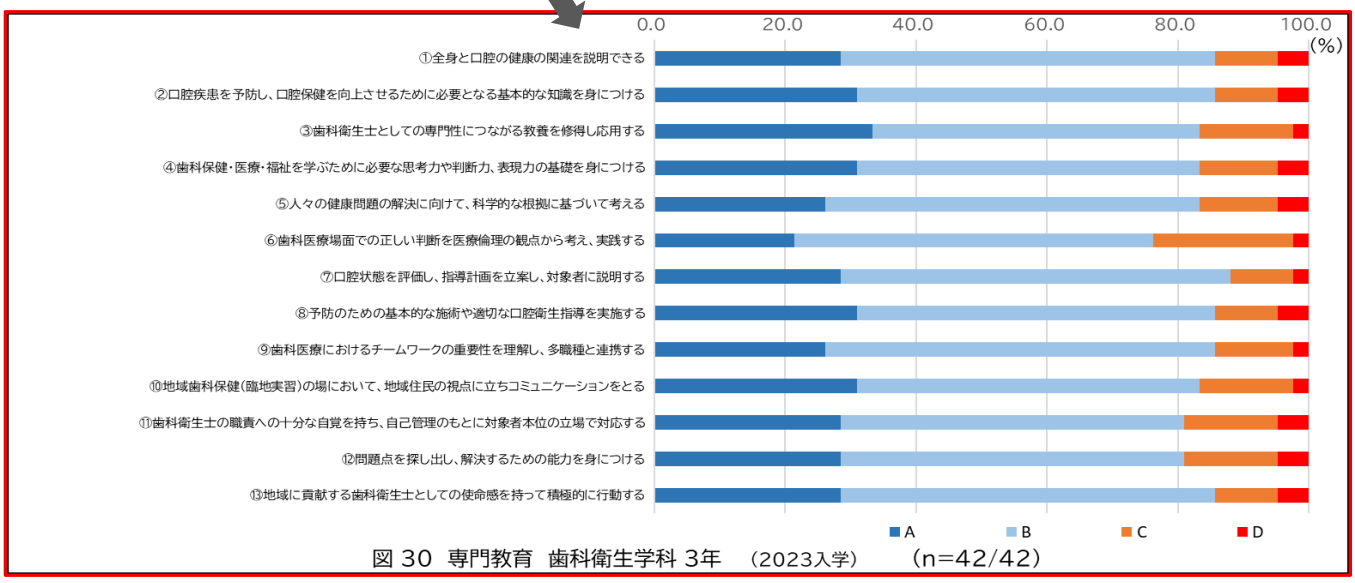


図 30　専門教育　歯科衛生学科 3年　（2023入学）　（n=42/42）

(3)専門教育の学修成果　　【 入学後、専門教育に関して、どの程度修得できたか 】

①幼児教育学科

「表4 幼児教育学科専門教育の学修成果に関する回答のまとめ」(12頁)、図21～図23 (12･13頁)のとおり。

表4 幼児教育学科専門教育の学修成果に関する回答のまとめ

【 専門教育　幼児教育学科 】 到達のめやす(A:100～80%、B:79～60%、C:59～20%、D:19～0%) (数字は回答率の%)		1年(n=41/42)				2年(n=33/35)				3年(n=37/38)			
		A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
知識理解	①遊びの中に存在する学びについて理解する	39.0	46.3	12.2	2.4	18.2	78.8	3.0	0.0	18.9	67.6	8.1	5.4
	②子どもの発達過程を支えるための、発達段階や発達課題について理解する	14.6	70.7	14.6	0.0	9.1	81.8	9.1	0.0	16.2	67.6	8.1	8.1
	③子どもの遊びや生活を支えるための、環境構成や援助の在り方について必要な知識を身につける	19.5	68.3	9.8	2.4	15.2	81.8	3.0	0.0	21.6	62.2	10.8	5.4
思考判断表現	④教育・福祉の専門分野を学ぶための基本となる総合的な思考力や判断力、表現力の基礎を培う	12.2	63.4	24.4	0.0	6.1	81.8	12.1	0.0	18.9	56.8	21.6	2.7
	⑤子どもの行為の意味に気づき、それらを分析・判断し実践に活かそうとする	24.4	61.0	12.2	2.4	21.2	60.6	18.2	0.0	27.0	56.8	16.2	0.0
	⑥時代の変化や様々な価値観、地域の特性に対応できる柔軟性を身につけ、実践を地域や保護者に説明しようとする	4.9	58.5	36.6	0.0	12.1	66.7	21.2	0.0	8.1	62.2	27.0	2.7
技能	⑦子どもをみとる力や、援助するために必要となる多様な保育技術を身につける	14.6	58.5	26.8	0.0	9.1	72.7	18.2	0.0	18.9	67.6	10.8	2.7
	⑧一人ひとりの子ども理解に応じた援助や環境構成	4.9	68.3	26.8	0.0	9.1	75.8	15.2	0.0	16.2	67.6	16.2	0.0
	⑨保育実践や社会生活で必要なコミュニケーション能力を身につけ、職員や保護者などと柔軟に関わり連携する	7.3	70.7	22.0	0.0	9.1	69.7	21.2	0.0	13.5	64.9	18.9	2.7
関心意欲態度	⑩豊かな感性と教養を養い、理想の保育者像を描き、常に研鑽に努める	22.0	51.2	24.4	2.4	24.2	63.6	12.1	0.0	10.8	75.7	13.5	0.0
	⑪社会事象や課題、子どもを取り巻く環境などに関心をもち、実践を常に振り返り、子どもの最善の利益のために新たな方法や手だてを行おうとする	7.3	63.4	26.8	2.4	9.1	75.8	15.2	0.0	16.2	64.9	16.2	2.7
	⑫社会に貢献する使命感と責任感を持って、様々な課題に対応するため地域と連携し、積極的に行動する	12.2	70.7	14.6	2.4	18.2	69.7	12.1	0.0	10.8	67.6	18.9	2.7

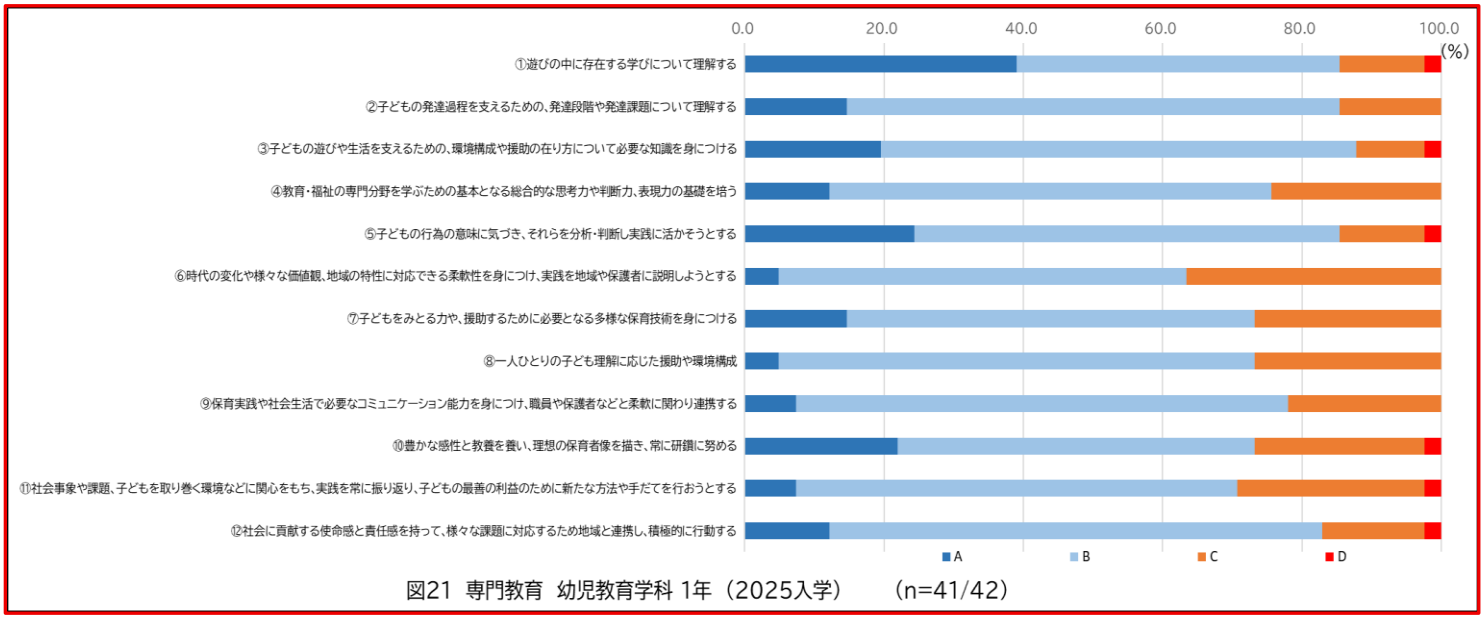
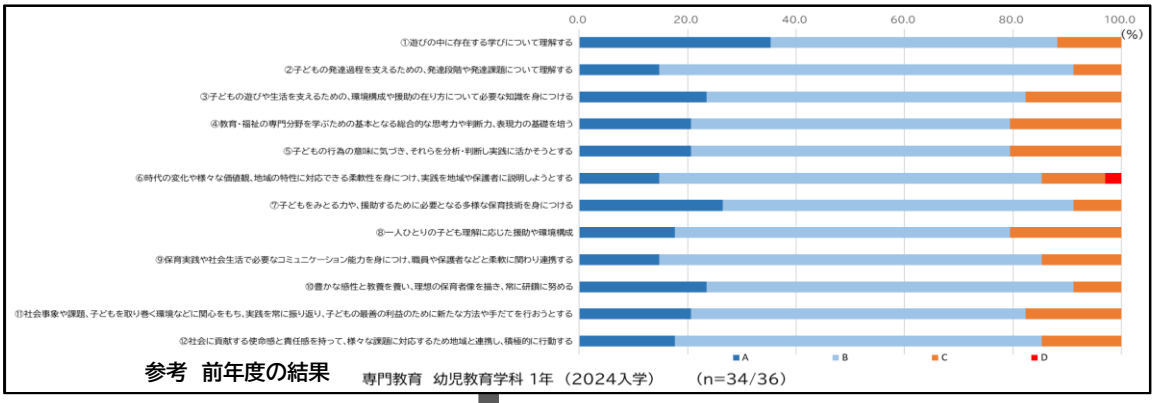


図21 専門教育 幼児教育学科 1年 (2025入学)　　(n=41/42)

到達のめやす(A:100～80%、B:79～60%、C:59～20%、D:19～0%)



参考　前年度の結果　専門教育　幼児教育学科 1年（2024入学）　（n=34/36）

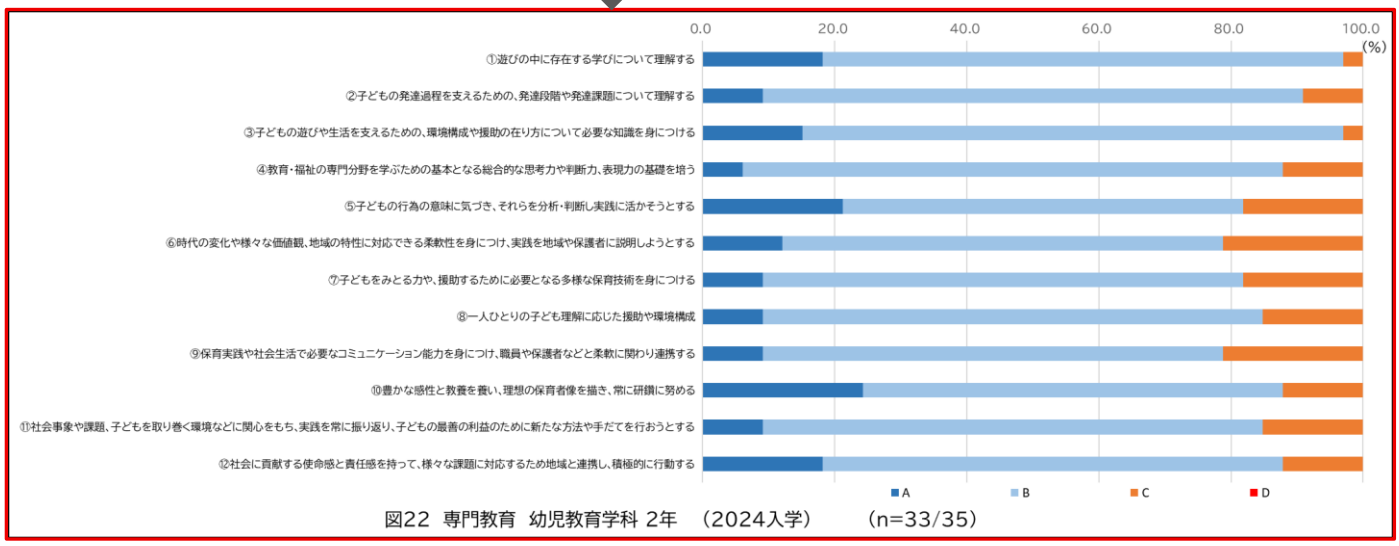
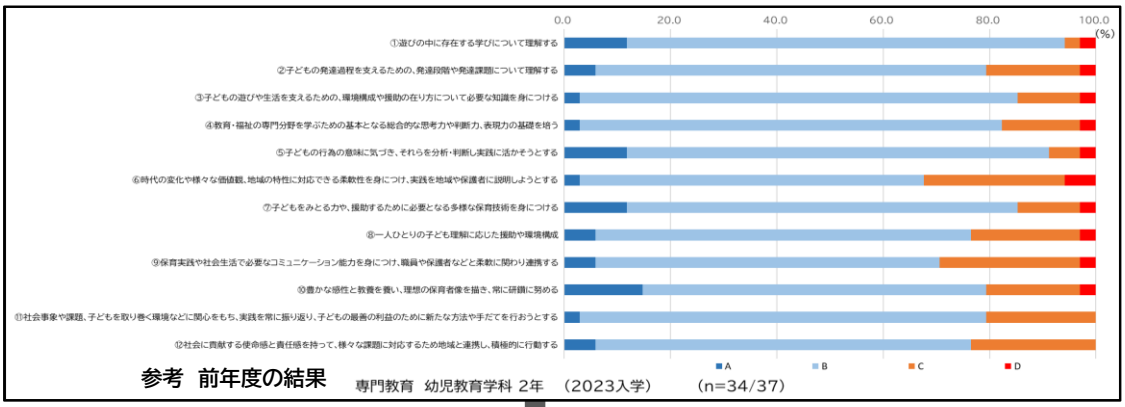


図22　専門教育　幼児教育学科 2年　（2024入学）　（n=33/35）



参考　前年度の結果　専門教育　幼児教育学科 2年　（2023入学）　（n=34/37）

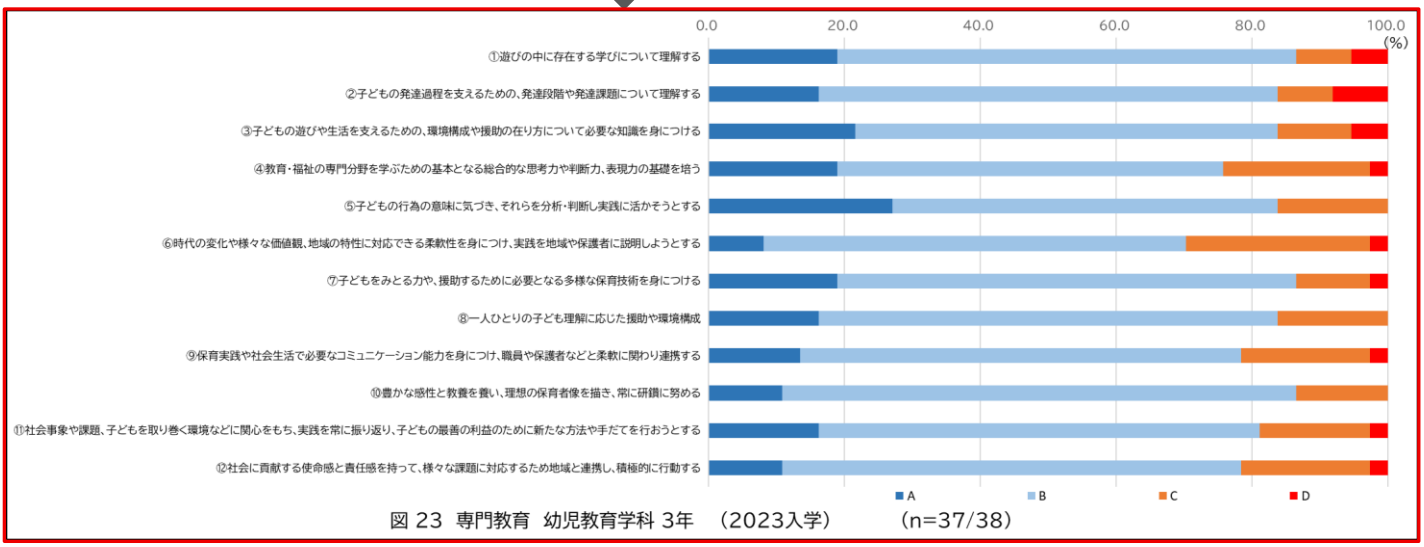


図 23　専門教育　幼児教育学科 3年　（2023入学）　（n=37/38）

②デザイン美術学科

「表5 デザイン美術学科 専門教育の学修成果に関する回答のまとめ」(14頁)、図24・25 (14 頁)のとおり。

表5 デザイン美術学科 専門教育の学修成果に関する回答のまとめ

【 専門教育　デザイン美術学科 】 到達のめやす(A:100～80%, B:79～60%, C:59～20%, D:19～0%) (数字は回答率の%)		1年(n＝37/52)				2年(n＝41/45)			
		A	B	C	D	A	B	C	D
知識理解	①美術・デザイン分野を学ぶ基盤となる知識を有する	18.9	64.9	10.8	5.4	29.3	53.7	17.1	0.0
知識理解	②美術・デザイン分野を学ぶ基盤となる知識への理解を深める	21.6	67.6	5.4	5.4	34.1	53.7	12.2	0.0
知識理解	③美術的表現の理論を修得し、応用させる	16.2	54.1	29.7	0.0	22.0	46.3	31.7	0.0
思考判断表現	④美術的表現の必要性を、総合的に考える	13.5	59.5	21.6	5.4	24.4	51.2	19.5	4.9
思考判断表現	⑤美術的表現での、要・不要や是非を判断できる	13.5	54.1	24.3	8.1	19.5	58.5	19.5	2.4
思考判断表現	⑥制作実践において、意義ある美的表現ができる	13.5	73.0	8.1	5.4	41.5	43.9	14.6	0.0
技能	⑦美術表現上、必要な技法を修得する	21.6	62.2	13.5	2.7	29.3	48.8	22.0	0.0
技能	⑧継続的に研究をし、視覚表現の提案ができる	5.4	59.5	32.4	2.7	19.5	46.3	31.7	2.4
技能	⑨クリエイターとして必要なコミュニケーション能力を修得	13.5	56.8	27.0	2.7	26.8	46.3	24.4	2.4
関心意欲態度	⑩美的なものに興味や関心を持ち続ける	35.1	59.5	0.0	5.4	41.5	46.3	12.2	0.0
関心意欲態度	⑪真摯な気持ちで美術・デザイン分野の研究に、主体的・意欲的に取り組む	27.0	54.1	13.5	5.4	39.0	53.7	7.3	0.0
関心意欲態度	⑫社会貢献する気持ちを持ち、地域と連携し積極的に行動する	5.4	45.9	37.8	10.8	12.2	41.5	34.1	12.2

※ はA＆Bで60%未到達の項目(卒業年)

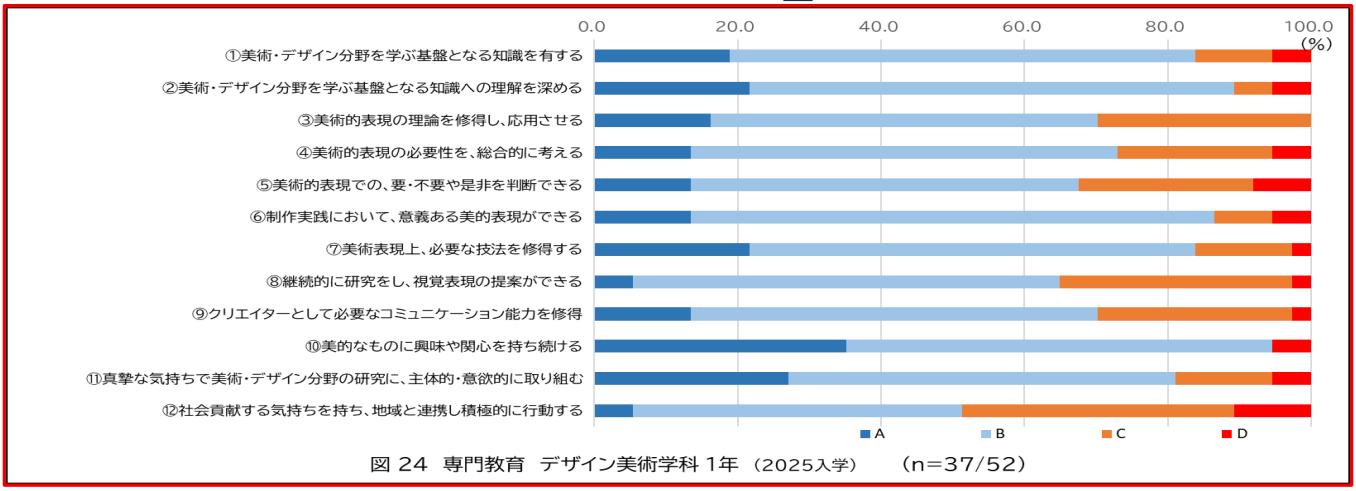
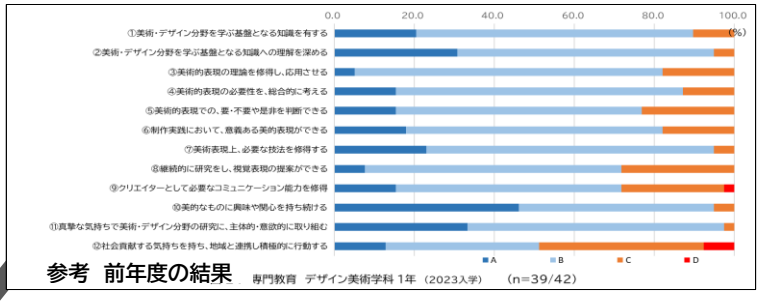


図 24　専門教育　デザイン美術学科 1年　(2025入学)　　(n=37/52)



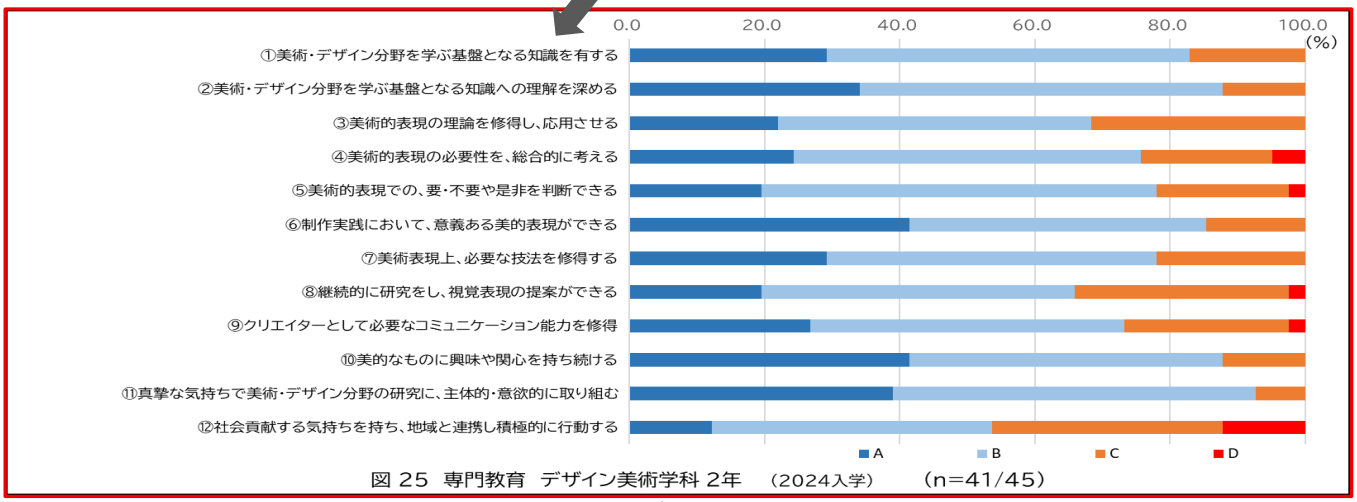


図 25　専門教育　デザイン美術学科 2年　(2024入学)　　(n=41/45)

③音楽総合美術学科

「表6 音楽総合学科 専門教育の学修成果に関する回答のまとめ」(15頁)、図26･27 (15 頁)のとおり。

表6 音楽総合学科 専門教育の学修成果に関する回答のまとめ

【 専門教育　音楽総合学科 】 到達のめやす(A:100~80%, B:79~60%, C:59~20%, D:19~0%) (数字は回答率の%)		1年(n=31/31)				2年(n=42/45)			
		A	B	C	D	A	B	C	D
知識理解	①曲の調性や楽語について理解する	35.5	51.6	9.7	3.2	35.7	50.0	9.5	4.8
	②曲を理解するための歴史や作曲家についての必要な知識を身につける	12.9	58.1	25.8	3.2	26.2	42.9	31.0	0.0
思判表	③楽譜を読み、書くことができる	32.3	45.2	19.4	3.2	38.1	47.6	9.5	4.8
	④演奏に適した調を判断し、必要に応じた移調ができる	22.6	38.7	29.0	9.7	35.7	47.6	9.5	7.1
技能	⑤専門家として必要な演奏の技術、楽器修復技術などを身につける	22.6	51.3	12.9	3.2	40.5	42.9	11.9	4.8
	⑥関係職種とコミュニケーションを取り、問題解決に取り組む	25.8	54.8	16.1	3.2	35.7	50.0	11.9	2.4
関態	⑦積極的で継続した学びの態度を身につける	51.6	38.7	6.5	3.2	54.8	26.2	16.7	2.4
	⑧音楽が人と人を結びつけるものであることを理解する	71.0	22.6	3.2	3.2	81.0	7.1	7.1	4.8

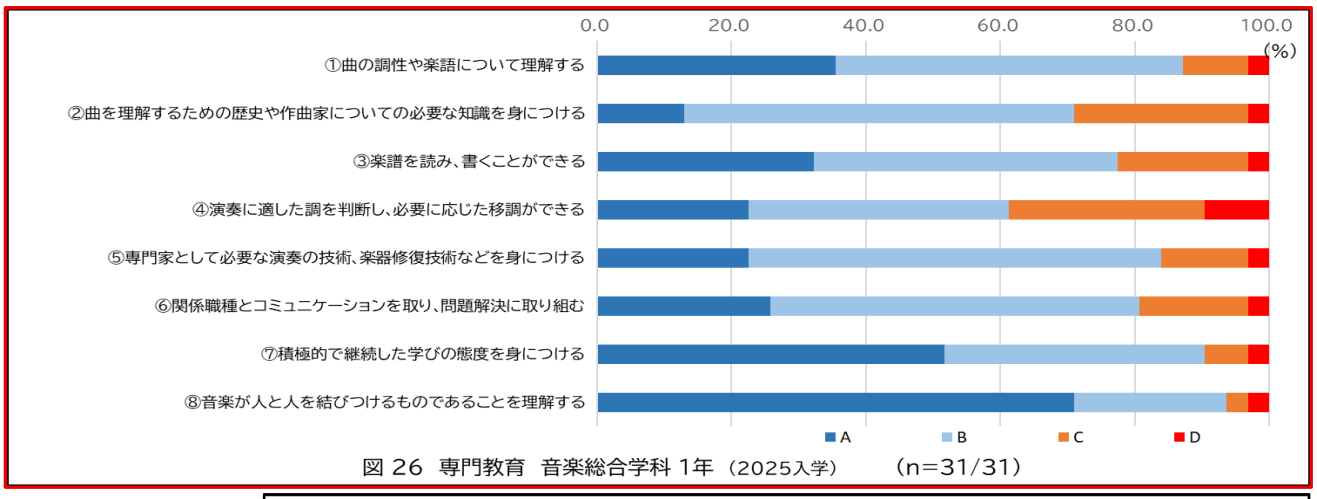
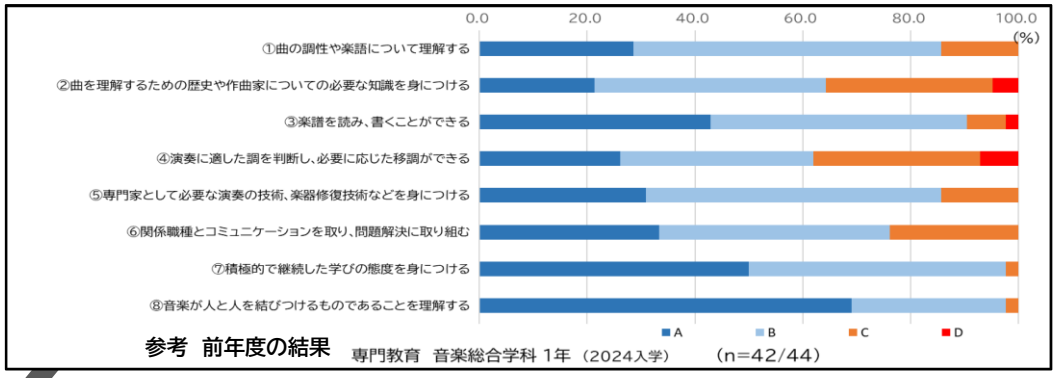


図 26 専門教育 音楽総合学科 1年 (2025入学) (n=31/31)



参考 前年度の結果 専門教育 音楽総合学科 1年 (2024入学) (n=42/44)

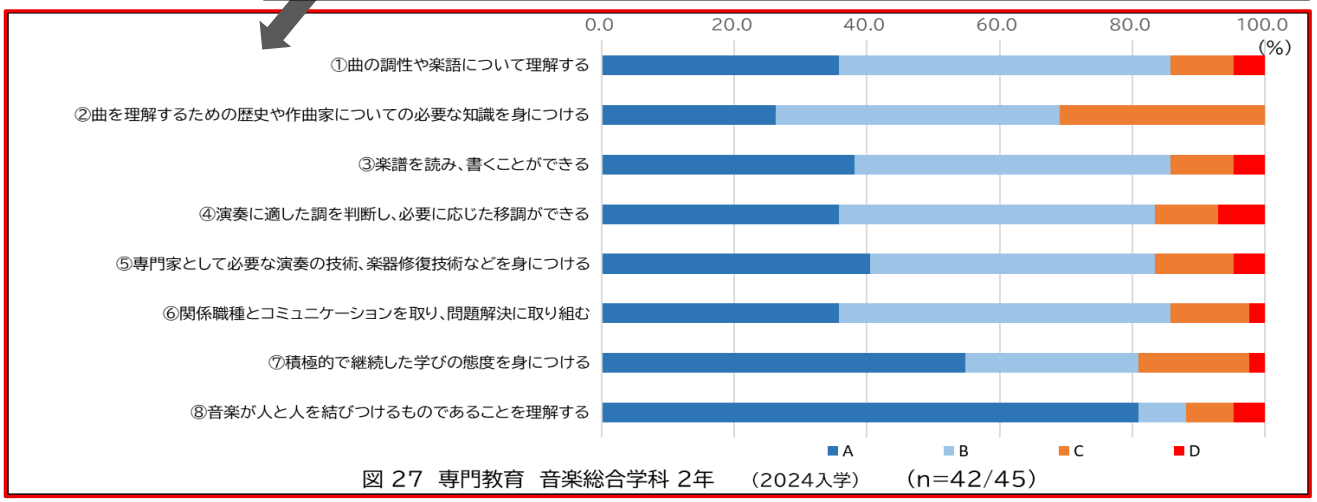


図 27 専門教育 音楽総合学科 2年 (2024入学) (n=42/45)

④歯科衛生学科

「表7 歯科衛生学科 専門教育の学修成果に関する回答のまとめ」(16頁)、図28～図30 (16･17頁)のとおり。

表7 歯科衛生学科 専門教育の学修成果に関する回答のまとめ

	【 専門教育　歯科衛生学科 】 到達のめやす(A:100～80%、B:79～60%、C:59～20%、D:19～0%) (数字は回答率の%)	1年(n=51/52)				2年(n=24/24)				3年(n=42/42)			
		A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
知識理解	①全身と口腔の健康の関連を説明できる	5.9	70.6	23.5	0.0	12.5	83.3	4.2	0.0	28.6	57.1	9.5	4.8
知識理解	②口腔疾患を予防し、口腔保健を向上させるために必要となる基本的な知識を身につける	9.8	72.5	17.6	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0	31.0	54.8	9.5	4.8
知識理解	③歯科衛生士としての専門性につながる教養を修得し応用する	11.8	66.7	21.6	0.0	16.7	70.8	12.5	0.0	33.3	50.0	14.3	2.4
思考判断表現	④歯科保健･医療･福祉を学ぶために必要な思考力や判断力、表現力の基礎を身につける	11.8	64.7	23.5	0.0	12.5	75.0	12.5	0.0	31.0	52.4	11.9	4.8
思考判断表現	⑤人々の健康問題の解決に向けて、科学的な根拠に基づいて考える	11.8	64.7	23.5	0.0	20.8	75.0	4.2	0.0	26.2	57.1	11.9	4.8
思考判断表現	⑥歯科医療場面での正しい判断を医療倫理の観点から考え、実践する	9.8	68.6	21.6	0.0	12.5	83.3	4.2	0.0	21.4	54.8	21.4	2.4
技能	⑦口腔状態を評価し、指導計画を立案し、対象者に説明する	9.8	64.7	25.5	0.0	20.8	70.8	8.3	0.0	28.6	59.5	9.5	2.4
技能	⑧予防のための基本的な施術や適切な口腔衛生指導を実施する	7.8	62.7	27.5	2.0	20.8	70.8	8.3	0.0	31.0	54.8	9.5	4.8
技能	⑨歯科医療におけるチームワークの重要性を理解し、多職種と連携する	19.6	64.7	15.7	0.0	20.8	75.0	4.2	0.0	26.2	59.5	11.9	2.4
技能	⑩地域歯科保健(臨地実習)の場において、地域住民の視点に立ちコミュニケーションをとる	7.8	70.6	21.6	0.0	25.0	70.8	4.2	0.0	31.0	52.4	14.3	2.4
関心意欲態度	⑪歯科衛生士の職責への十分な自覚を持ち、自己管理のもとに対象者本位の立場で対応する	15.7	60.8	23.5	0.0	25.0	70.8	4.2	0.0	28.6	52.4	14.3	4.8
関心意欲態度	⑫問題点を探し出し、解決するための能力を身につける	11.8	62.7	25.5	0.0	25.0	66.7	8.3	0.0	28.6	52.4	14.3	4.8
関心意欲態度	⑬地域に貢献する歯科衛生士としての使命感を持って積極的に行動する	17.6	62.7	17.6	2.0	33.3	58.3	8.3	0.0	28.6	57.1	9.5	4.8

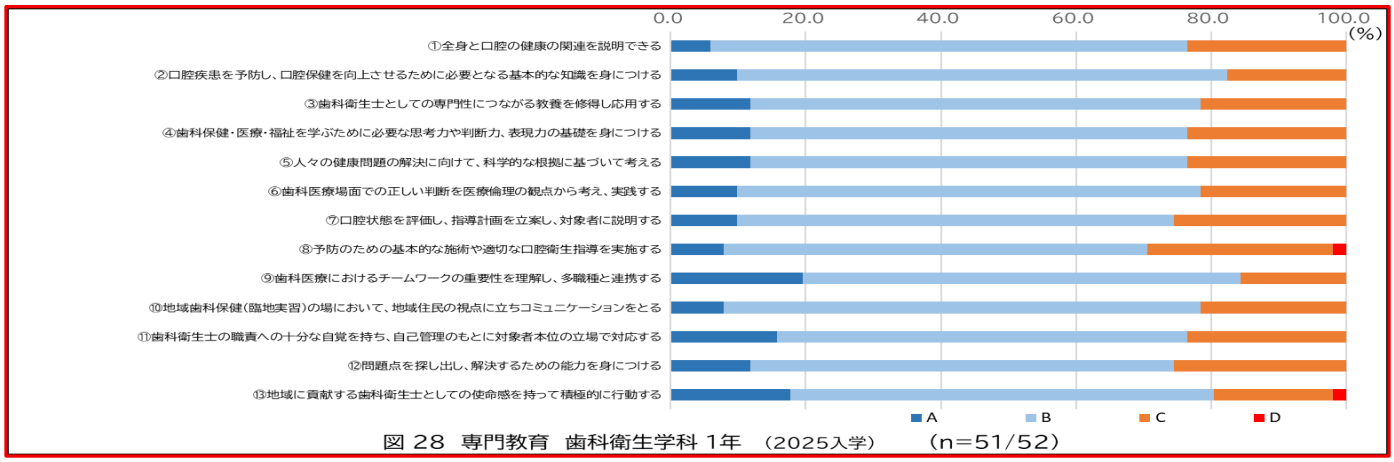
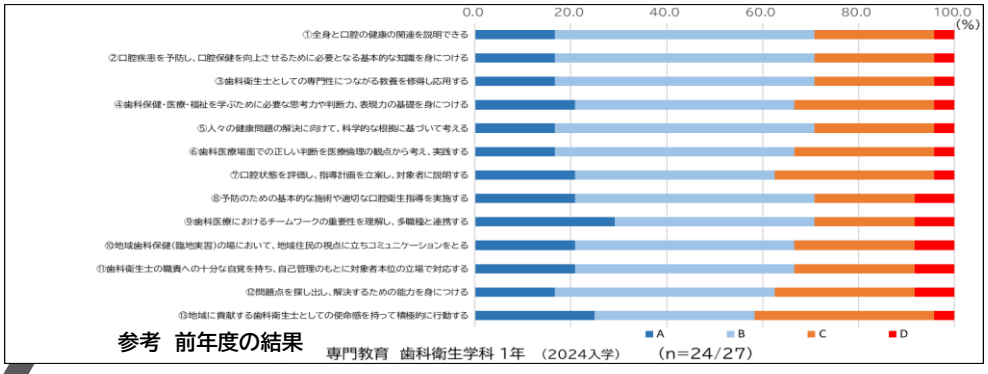


図 28　専門教育　歯科衛生学科 1年　(2025入学)　(n=51/52)



参考　前年度の結果　専門教育　歯科衛生学科 1年　(2024入学)　(n=24/27)

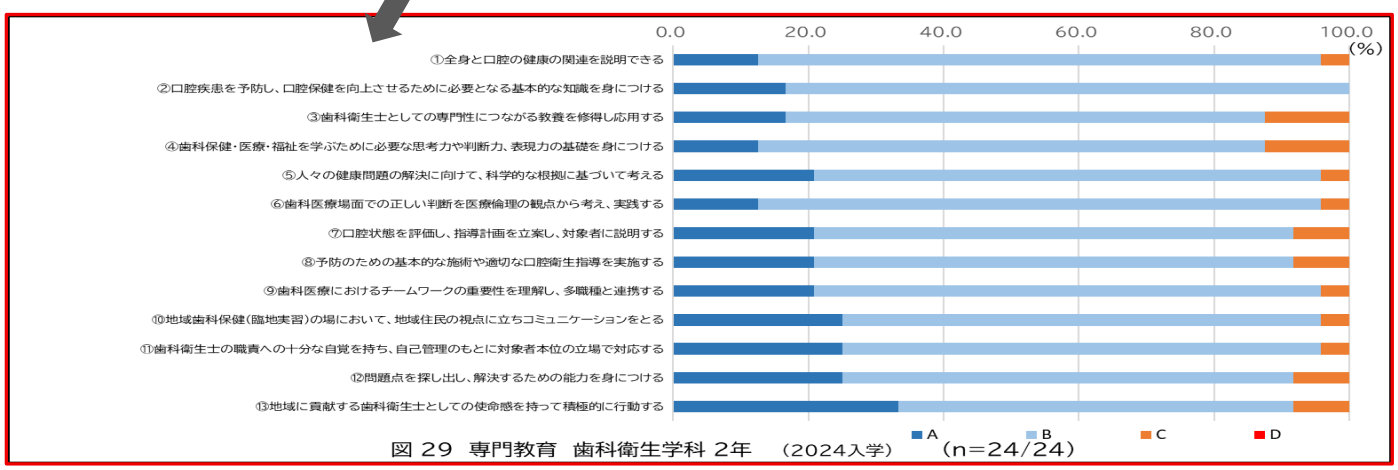
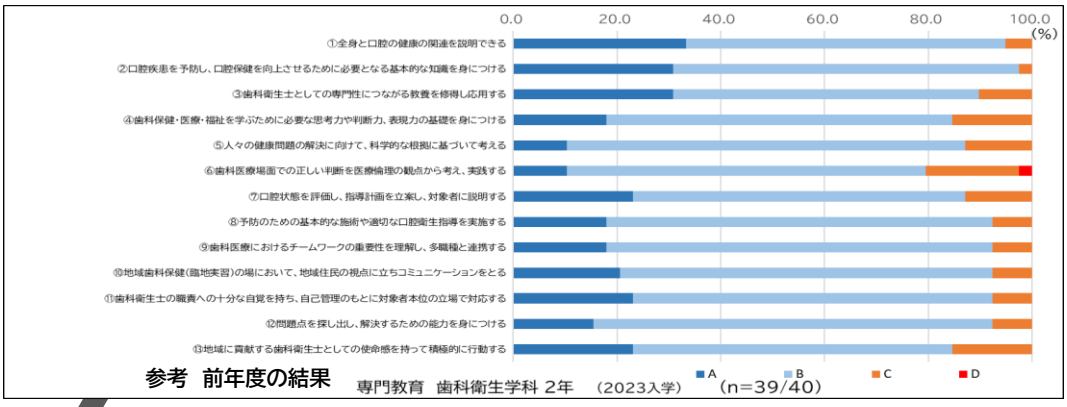


図 29　専門教育　歯科衛生学科 2年　(2024入学)　(n=24/24)



参考　前年度の結果　専門教育　歯科衛生学科 2年　(2023入学)　(n=39/40)

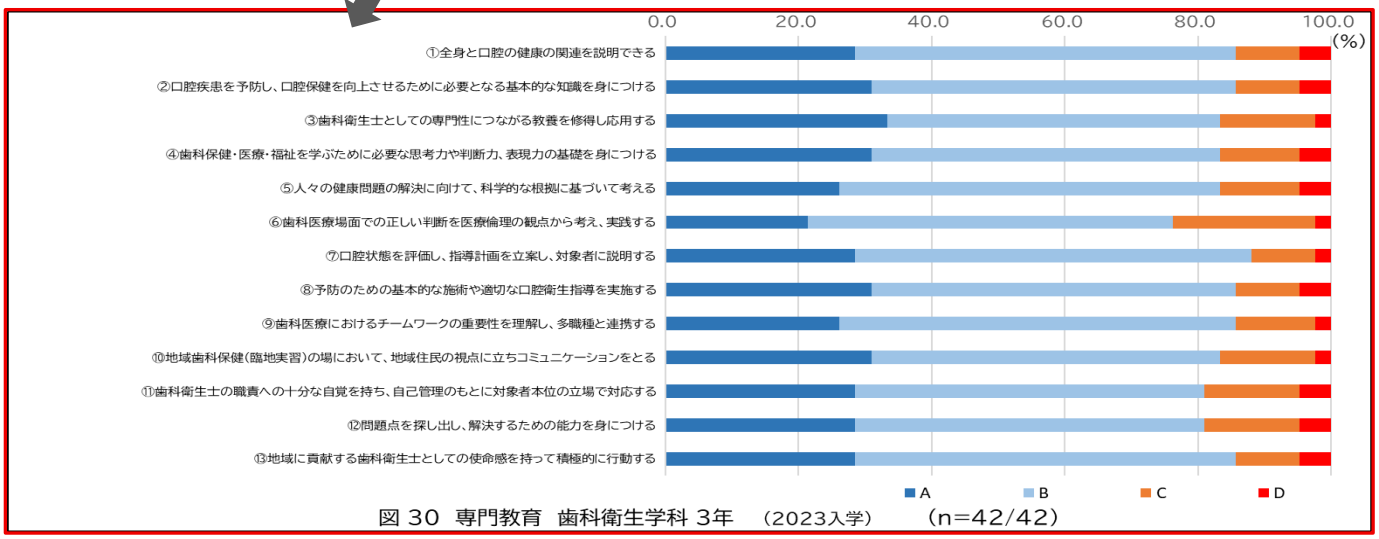


図 30　専門教育　歯科衛生学科 3年　(2023入学)　(n=42/42)

到達のめやす(A:100～80%、B:79～60%、C:59～20%、D:19～0%)

(4)カリキュラム等に関する要望等　　【 開設してほしい授業科目と時間割・履修内容など：自由記述 】

「表9 開設してほしい授業科目や時間割・履修内容などに関する回答のまとめ」(18頁)のとおり。

表9 開設してほしい授業科目や時間割・履修内容などに関する回答のまとめ

【開設希望科目等】	1 年	2 年	3 年
幼児教育	―	・乳幼児救急救命支援員、 救命救急法国際資格。	・3 年次の時間割が体力的に厳しい。 ・必要な授業なのかわからなかったものがあって正直時間の無駄なものがあった。カリキュラムに則っているのであれば、もう少し考えた方がいいと思う。子ども祭やみずき祭などの行事はするのはいいと思うが、準備期間が無いのも課題だと思う。 ・教科書高いし、買ったのにほとんど使わない講義が多く、お金がもったいない。急な出費で一人暮らしからしたら辛かった。 ・みんなの感想を見られるようにして欲しい。(共有)視野を広げたい。
デザイン美術	・もっと専門職の就職先を紹介したり、解説したりして欲しい。 ・ゲーム・CG コースを、三年制にしたらもっと技術力をあげられると思った。	・ゲーム CG コースは生徒数と教員が釣り合う用にしたほうがいいと思う。ほとんど家でモデリングの勉強をしていた。 ・オンライン授業で単位が取れるようにして欲しい。 ・アナログイラストの授業が欲しい。 ・就職活動と卒業制作、学校行事が重なっているので単位がもう少し柔軟に調節できればいいのにと感じた。私の場合、一年前期毎日ほぼマックスで授業を履修してやっと二年後期で必要最低限の授業数に出来ました。一般職のことは分かりませんが、専門職を目指そうと思うと製作時間がかなり大切になると感じた。逆に製作時間さえ確保できればより多くの子が目指したい職業を挑戦できるのかなと思った。卒業制作がカリキュラムにどこまで含まれるか分からないが、二月末最終提出の三月頭に展示ぐらいの日程だったら良かったのにとも思った。各々の専門分野に対する知識を持った方(教師や非常勤の先生等)を反映させていくと学生が学んでいきやすいのかなと思った。 ・粘土や造形の授業での学びが多く、楽しいのでそういったものをもう少し作りたい。手で触って作ることで得られる造形美的感覚を養いたい。	
音楽総合	・リペアを週の前半に固めてほしい。 ・シラバスが見にくい。	・リペアで、実際に使用されている楽器のリペアとまではいかなくても、どんな状態になるのか見る機会が欲しいと思った。	
歯科衛生	・もう少し休みが欲しい ・行きのバスの本数を増やして欲しい。	―	・臨床実習の開始時期を早めて国試勉強をする時間を早めて欲しい。

4. 結果から

調査の結果から、以下の点について考察するが、これらは、今後の教育課程の改善、それぞれの授業設計や教材開発及び教材の選択等を行う際の参考とするとよい。

また、FD information で示された学生による授業評価とも関わらせて、授業を担当する各教員が学生の学びの実態と合わせて検討すべき内容もあると考えられる。

（１） 回答学生数と回答率 ※表1(1 頁)参照

今年度も昨年度同様に、各学科において学生回答率100％達成（音楽1年、歯科2，3年は100％回答）に至らなかったが、昨年度より回答率の向上があった。（全体：昨年度87％⇒今年度 93％）

例年各学科の教務委員をはじめとする多くの教員及び事務局職員の努力により、本調査が継続的に実施できているので、今後とも協力していただけるようお願いしたい。

（２） 学修態度 ※表2(2頁)参照

① 授業に意欲的に取り組む姿勢 （表２ 問１）

昨年度と同様の設問項目で、「1-授業には集中して臨んだ」については、回答 4（よくした）の値が全学年で約 65％（今年度は 62.3％⇒昨年度は 64.3％）であり、高い水準を維持している（「ときどきした」も含めると 86.2％⇒昨年度は 87.7％）。回答1&2（まったくしなかった、あまりしなかった）の値は、13.8％（昨年度は 12.2％）であった。

このことから、学生の学びの姿勢・意欲は高いと捉えることができるが、各担当者による授業の工夫改善を視野にいれて、授業における学修活動の在り方について、継続的かつ日常的に検討していくことが重要であろう。

② 学生相互や教職員とのつながり （表２ 問2・3） ※短大生調査設問11 参照

本学の特徴の一つである学生と教職員（教員と事務職員）の結びつきの強いことは、以前から大きく変化しているものではなく、本学の大きな特色の一つである。設問2や設問3で、「授業に関することで」教員や仲間に質問したり話したりしたとの回答が、80％を超える学科、学年が多くあった。（短大生調査設問11-1 教職員との関係では、全体で 83％）今後も学生と教職員、学生間のつながりや関わりを意識した授業設計をしていくことが大切であり、日常的な考察を継続していくことが重要であると考えられる。

③ 図書館の利用や活用

※短大生調査にて、授業での図書館の利用状況についての問い（設問9 3頁～8頁）を参照

全学年 Q11		選択肢4	選択肢3	選択肢2	選択肢1	
		よくあった	ときどきあった	あまりなかった	まったくなかった	合計
図書館を利用する	回答数	23	106	133	85	347
	回答割合	7%	31%	38%	24%	100%

「よく利用する」「ときどき利用する」で 38％であるが、可能な範囲で学生が積極的に図書館利用できるよう、働きかけることが必要である。

④ 短大生調査

「短大生調査」においても、学修態度全般に関する質問項目があり、本学の学修行動調査をあわせて実態及び状況を総合的に把握して、よりよい授業を提供することを目指して常に意識していく必要がある。 特に関連のある質問項目 【問9】【問11】【問16】【問19】

（３） 教養教育・キャリア教育 ※表3(2頁)参照

① 学年の特性と学年による学びの深まり

今年度も学年進級とともに教養教育、キャリア教育ともに学びの深まりがうかがえる。しかし、本学における教養教育の中心となる「教養科目」は、基本的に 1 年次で履修を終了するため、2 年次以降では教養教育についての到達度が低くなる傾向になってしまう。

また、教養教育・キャリア教育ともに、項目（「表現」「コミュニケーション力」という用語の含まれた設問）によって苦手意識が若干みられる。しかし、表3のピンク色の部分は 1 年次より 2 年次に増えている項目であり、良い傾向である。

キャリア教育では、1年次から「教養キャリア基礎演習Ⅰ・Ⅱ」を中心に計画的に実施していることにより、どの学科でも高い到達度を回答している。しかし、若干名の到達度の低い学生も見られるため、引き続きキャリア教育の重要性を示しながら継続的な指導とカリキュラムの改善を検討していく必要がある。

② 教養教育について

到達のめやす「A(100～80%)」&「B(79～60%)」で、全学科全学年で 79.8%(昨年度は 75%)を超える結果を示しており、ほぼ達成できていると捉えることができる。今年度も昨年度同様に教養基礎キャリア演習Ⅱにて初年次教育の振り返り(基礎教養科目)を実施したが、多くの学生が自身で身に付けた力を実感した記述があり、到達目標向上に大きく寄与している。ただし、前述の「表現」「コミュニケーション力」の育成については、到達度の低い学生もおり、専門科目も含めての継続的な底上げが必要であると考えられる。

③ キャリア教育について

到達のめやす「A(100～80%)」&「B(79～60%)」で、全学科全学年で 79.5%(昨年度は 75%)を示しており、おおむね達成できていると捉えることができる。

また、到達のめやす「C (59～20%)」と「D (19～0%)」と回答した学生の数が若干見受けられるが、学生の自己評価だけでなく、授業における教育評価など、教職員から見た評価もあわせて考える必要がある。

(4) 専門教育について ※表4(12頁)、表 5(14 頁)、表 6(15 頁)、表 7(16 頁)参照

各学科の DP(ディプロマ・ポリシー)における到達指標(＝本学で考える学生の学修成果)に沿っているので、これまでの調査結果と同様に学年進級によって高い到達の割合を回答する学生が増えている。

最終学年では、すべての学生が最低でも 60～80%以上到達の自己評価をすることが理想である。昨年同様に、デザイン美術学科の項目12(社会貢献する気持ちを持ち、地域と連携し積極的に行動する)以外でこの数値をクリアしている。

自己評価の若干低い項目内容については、学生の学びの在り方と、科目の目的・目標の適切性を検証して教育課程に反映させ、学生の学びがより深まるカリキュラムを検討も必要である。

(5) 授業科目及び施設等の整備 ※表9(18頁)参照

この項目への記載のあった学生の割合は1割には満たない(4.4%)が、学生一人一人の声に真摯に耳を傾け、改善策を講じていくことはとても大切である。本学の教職員がこの思いを共有し、さらなる発展に寄与していく努力を重ねたい。

① 教育課程等に関する学生の希望

科目内容や履修の仕方での要望があるが、教育課程編成上可能な範囲で応えていくことが大切である。学科(コース)の特質を踏まえて実現可能かどうかを総合的に判断していくことが重要である。

環境改善と施設整備についての要望は、今年度はなかったが、学生の声に常に耳を傾け、要望内容を要検討事項として、学生生活の充実と学びの質の向上につなげるようにしたい。

※環境面の調査は短大生調査 Q18にて詳細に問われているので参考にしたい。

※※短大生調査の Q21-4 にて、キャンパスや校舎についての評価についての問い(21 頁)

〔21-4〕キャンパスや校舎(居心地が良い、快適、落ち着く)

Q22-4	選択肢5	選択肢4	選択肢3	選択肢2	選択肢1	
	とても思う	やや思う	どちらでもない	あまり思わない	まったく思わない	合計
回答数	78	147	79	20	9	333
回答割合	23%	44%	24%	6%	3%	100%

学生が示した要望や希望について、考えを述べてくれたことについて感謝するとともに、どのように対処するのか(要望等の適切性も含めて)きちんと説明等を返していくことが大切な教育活動の一つである。

② FD 活動との関連

教員が FD 活動に取り組む際には、学生による授業評価や学生の学修行動の状況や学習成果についての自己評価及び短大生調査等の結果を踏まえておくことが大切である。

以上